

入学試験問題集

＜令和8（2026）年度＞



公立大学法人

名桜大学
MEIO UNIVERSITY

令和 8(2026)年度入学者選抜 個別試験問題集 目次

選抜区分		学科	個別試験科目	ページ
総合型選抜		国際文化学科 国際観光産業学科	小論文（2 学科共通）	1
		スポーツ健康学科	小論文	3
		健康情報学科	小論文	5
学校推薦型選抜		国際文化学科 国際観光産業学科	小論文（2 学科共通）	11
		スポーツ健康学科	小論文	15
		看護学科	総合問題	17
		健康情報学科	小論文	33
編入学試験		国際文化学科	事前提出型小論文	37
		国際観光産業学科	事前提出型小論文	41
		スポーツ健康学科	小論文	15
		看護学科	総合問題	17
		健康情報学科	小論文	43
特別選抜 ① 社会人 ② 帰国生徒 ③ 外国人留学生		国際文化学科 国際観光産業学科	事前提出型小論文（2 学科共通）③	51
		スポーツ健康学科	小論文 ②・③	15
		看護学科	総合問題 ①	17
		健康情報学科	小論文 ③	33
一般選抜	前期 日程	国際文化学科 国際観光産業学科	小論文（2 学科共通）	53
			英語（2 学科共通）	57
		看護学科	小論文	71
		健康情報学科	小論文	73
	後期 日程	国際文化学科 国際観光産業学科	小論文（2 学科共通）	81
各試験問題「出題の意図」「模範解答」				84

この入学試験問題集には、令和 8(2026)年度「総合型選抜」、「学校推薦型選抜」、「編入学試験」、「特別選抜（社会人・帰国生徒・外国人留学生）」、「一般選抜」で出題した試験問題を収録しています。出願者、受験者が無く実施していない入学者選抜の試験問題は収録していません。

著作物は、すべて著作者もしくは出版社の許諾を得て転載しています。

令和 8 年度

名桜大学 国際学部
国際文化学科・国際観光産業学科

総合型選抜

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙の所定の欄に受験番号と氏名を記入すること。
4. 解答は、解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
5. 解答欄は、解答用紙の表と裏にあるので注意すること。
6. 解答用紙の他に下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
7. 試験終了後、解答用紙のみ回収する。問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

【設問】 現代の若者の読書離れを踏まえ、情報化社会において本を読む意義や学びの多様性について、あなたの考えを論じなさい。

答案を作成する際には次の指示に従うこと。

- 複数の段落で文章を構成すること。
- 題目、見出しは書かないこと。
- 700 字以上 800 字以内で書くこと。
- 一般的な原稿用紙の使い方に則って、横書きで書くこと。

一日にまったく本（電子書籍を含む）を読まないと答えた大学生が 53.1%——。

全国大学生協連合会が先頃、そんな調査結果を発表した。長らく 30% 台で推移していたが、4 年前に 40% を超え、その後も毎年増えているという。

いまどきの学生は、と眉をひそめる人も少なくないだろう。しかし本離れは若者に限った話ではない。少し前の文化庁の調査でも、「無読層」はすべての世代で増加傾向にある。

ネットの普及や書店の減少で、本に接する機会は確実に減っている。背伸びしてでも知識を得ようとする教養主義は、過去のものとなって久しい。

学生は就職活動でアピールできる即戦力の技能を磨くことに追われる。読書を「割に合わない」と考えても不思議はない。そして肝心の本にしても、出版界の苦境を反映してか、粗製乱造ぶりが目につく。

だが嘆いていても仕方ない。

情報を受け取る方法は時代によって違うことを、まず確認するところから始めよう。

「本を読まない」と「文章を読まない」とは違う。若い世代は SNS を使いこなし、ネット上の様々な文章に親しむ。玉石混交との批判もあるだろうが、それは本の世界も同じだ。一冊を読み通さない「つまみ食い」も含め、読みの多様化をまず認めることが大切だ。

そのうえで、まとめサイトで手っ取り早く情報を集めるのとは違った「本」ならではの魅力や、多様な世界観に触れる楽しさを、できるだけたくさんの若者に知ってもらいたい。

それを教え、伝えるのは大人の役割だ。例えば始業前の「朝の読書」の試み。小中学校では全国の 8 割以上が実施しているが、高校になると半数以下に減ってしまう。読書量は高校までの習慣に関係すると言われている。本との出会いを増やす方法のひとつとして、もっと活用できるのではないか。

物語の展開に心躍らせ、言葉の魅力に酔う。ノンフィクション作品を通じて、それまで知らなかった人の営みに目を開く。歴史や社会、科学への知見を深め、明日への指針を探る。

「火花」で芥川賞を受賞した又吉直樹さんは、読書の面白さを実感するのは、言葉にできなかった複雑な感情や感覚が明確に描写されているのを読むときだ、と著書に書いている。

「これやったんや」と——。

卒業・進学の子供。それぞれの「これやったんや」を探しに、本の森にまず一步を踏み入れてはどうだろう。

出典 社説「大学生と読書 又吉さんに背中押され」、『朝日新聞』、2018 年 3 月 21 日、東京朝刊、14 頁

令和 8 年度
名桜大学 人間健康学部 スポーツ健康学科

総合型選抜

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。
4. 解答方法は次のとおりである。
 - 1) 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
 - 2) 解答用紙の他に下書き用紙を配付するので取り違えないように注意すること。
 - 3) 試験問題の裏及び余白を下書きに使用してよい。
5. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

次の文章を読み、設問に答えなさい。

国際オリンピック委員会（IOC）の新会長にジンバブエ出身の 41 歳、カースティ・コベントリー氏が選出された。初の女性会長であり、欧米出身者以外がトップに立つのも初めてだ。

トーマス・バッハ会長の下で迎えた東京五輪では議論の過程を見せぬままマラソンの札幌開催を決めるなど、強権と独善が目についた。五輪好きの日本国民に悪感情を植え付けた罪は軽くない。国民の多くが IOC に抱いているのは不信感ではないか。

コベントリー氏は、競泳選手として出た五輪 5 大会で金 2 個を含む 7 個のメダルを手にするなど、女性活躍の時代を体現してきた。「ロールモデルとしての責任を自覚しているし、女子競技の足場の強化などに尽くす」と誓った。だが、IOC を透明性の高い組織、常識のある組織に変える責任も忘れられては困る。その中で、なぜ五輪が必要なのかという意義を明確に打ち出してもらいたい。

バッハ氏は五輪の開催都市選考の権限を理事会に集約し、夏も冬も十数年先の大会まで内輪の議論で決める手法を定着させた。減少傾向にある開催都市の確保を優先した結果だが、招致の不透明感も強まった。

先日の会長選では、コベントリー氏が国際体操連盟会長の渡辺守成氏ら他の 6 人に大差をつけて勝った。6 月に退任するバッハ氏が後ろ盾になったといわれる。新体制が早くも「傀儡（かいらい）」と危ぶまれるゆえんだ。影響力を除かない限り、組織の体質を変えることはできない。

2028 年ロサンゼルス大会ではトランプ米大統領との協調も欠かせない。トランプ氏の掲げる「米国第一主義」を前に、スポーツを通じた平和でよりよい世界の構築を目指す五輪の理念をどう守るのか。新会長の手腕が問われている。

ウクライナ侵略を続けるロシアへの対応では、バッハ体制が「中立」を条件に認めたロシア勢の個人参加すら許すべきではない。しかもロシアは、国ぐるみのドーピングと手を切ったとは言い難い状況である。

対戦相手を危険にさらすトランスジェンダー選手の女子競技参加も、スポーツの土台を揺るがす問題の一つだ。公平公正という前提を抜きに、スポーツは成り立たない。2 つの問題には厳正な対処を求める。

出典：産経新聞（2025）「主張」IOC に女性会長 常識のある組織に変えよ. 3 月 27 日 東京朝刊 p.2.

問題 文章で示された五輪の課題、もしくは、文章で示されていない五輪の課題について論じなさい。（1,000 字以内）

令和 8 年度
名桜大学 人間健康学部 健康情報学科

総合型選抜

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。
4. 解答方法は次のとおりである。
 - 1) 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
 - 2) 解答用紙の他に下書き用紙を配付するので間違えないように注意すること。
 - 3) 試験問題の裏及び余白を下書きに使用してよい。
5. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

以下の文章を読んで、続く問題に答えなさい。

定量化される自己

私たちの最も身近にある (A)「生体情報」 を認識する技術（テクノロジー）を一つ挙げるとすれば、それはおそらくヘルスケアに関連するものだろう。新型コロナウイルス流行に伴って、血中酸素飽和度を簡単に測定できる「指先式パルスオキシメーター」が飛ぶように売れ、欠品が続出したことは記憶に新しい。読者の中には、ずっと前から家庭用の心電計や血圧計を常用している人もいるはずだ。

これらの「生体情報」の測定は、かつては病院で行うのが一般的だった。これが家庭で手軽に行えるようになったのは、1970 年代以降のことである。1970 年代後半には、早くも自動測定とデジタル表示が可能なパルスオキシメーターや血圧計が製品化されている。

心拍・脈拍計が病院の外に持ち出されたのも、1970 年代後半だ。1977 年に、長距離走で野山を駆けるクロスカントリーのフィンランドチームが、トレーニング用に携帯型心拍計を開発している。それが一般向けに発売されたのは、5 年後の 1982 年のことである。そして、さらに 5 年後の 1987 年には、カシオ計算機が、スマートウォッチの魁ともいえる、脈拍測定用のセンサーを搭載した多機能腕時計を発売している。

このように、20 世紀後半にはすでに、家庭で手軽に自身の「生体情報」を測定することが可能になっていたのだ。このことが健康維持に寄与した事例は枚挙に暇がないのだが、ここでは糖尿病に関する事例を一つ挙げておこう。

糖尿病科の医師であるステファン・マーティンらは、1995 年から 1999 年の間に 2 型糖尿病と診断された患者 3268 人を対象に、追跡調査を実施している。調査対象となった患者の中には、血糖値測定器を利用して自らの血糖値をトラッキングする患者と、そうでない患者がいた。調査結果から分かったのは、致死的な病気の発生率は、少なくとも 1 年間トラッキングした患者が 2.7% だったのに対し、非トラッキング患者は 4.6%、そして非致死性の病気の発生率も前者が 7.2% で、後者が 10.4% だったということだ。つまり、セルフトラッキングを行う患者の方が、糖尿病関連の罹患率が減少していたのである。

「気づき」が、節制という自発的な行動の生起確率を向上させ、結果的に健康維持に寄与したわけである。

(中略)

数字を通じた自己認識

本章では、「分かっているのにできない」状況を改善する試みを「現代の知性改善論」と呼び、それを支える技術について述べてきた。そして、この技術を用いて定量的に状態を把握する実践は、私たちに「気づき」を促し、それによって自発的な行動の生起確率を向上させようとする試みとして理解できる、と論じた。(B) この試みは、一般に「定量化された自己(Quantified Self)」(以下 QS) と呼ばれる。

この試みは、いまや世界的なムーブメントになっている。その発端は、『Wired』誌の編集者であるケヴィン・ケリーとゲーリー・ウルフが 2007 年に掲げた理念に基づき、2008 年にウェブサイトが開設されたことである（以下、QS サイト）。QS サイトでは、認知向上やダイエット、心拍数、お金、排卵周期と妊娠、生産性、睡眠など、多岐にわたるトピックが扱われている。しかし、それには共通のモットーがある。すなわち、「数字を通じた自己認識（self knowledge through numbers）」、あるいは「データ駆動型の生活」である。QS サイトは、さまざまなプロジェクトの実施や利用者による活発な意見交換など、実践的な活動の場として機能しており、ここに集う QS の実践者たちはセルフトラッカー、あるいは「QSer」とも呼ばれている。

先述の通り、QS には多岐にわたるトピックがある。「分かっているのにできない」状況は、それだけ多様だということだ。その改善が全体に共通する「目標」であるのは間違いない。しかし、その目標をクリアした先、つまり最終的なゴールとなる「目的」は人それぞれだ。ついつい間食してしまう「悪い習慣」を断ち切るという「目標」は、ある人にはってはダイエットという「目的」に適い、別の人にとっては蓄財という「目的」に適うかもしれない。この「目的」の多様さは、セルフトラッカーたちの動機が多様さに通じる。そこで、彼らの主要な動機（あるいは「目的」）に関しても、先行研究を一瞥しておこう。

データによる説得を望む人びと

セルフトラッキングの市場はヘルスケアに関する割合が最多だが、（C）ユーザーがトラッキングを行う動機は、自分自身の健康管理に限定されるわけではない。彼らは、より広い目的のためにもそうすることがある。この点を明らかにした研究として興味深いのは、2012 年に、ヘルシンキの国立消費者研究センターが、フィンランドの国立技術研究センター（VTT）と協力して行った調査研究である。この研究は、調査対象者にウェアラブルデバイスで一定期間心拍変動データなどを収集してもらい、その過程で得た「気づき」を聞き取り調査するというものだった。

最初に目を引くのは、調査対象者を募集するに当たり、体調の悪い人や、過度のストレスやアルコールの乱用が疑われる人は、参加の誘いを断る傾向があったということだ。この研究ではその理由は明示的には述べられていない。しかし、公衆衛生リスクへの関心が高く、それに基づく福祉国家政策が採られる北欧での調査だったことは考慮すべきだろう。つまり、参加を断る傾向にあった人びとは、自分の状態の悪さが可視化されることで、自責の念を強く感じたり、他者から道徳的に非難されたりする可能性を恐れたのかもしれない。

逆に言えば、参加を希望した人びとは、それだけ自分や他者に対する責任を果たしたい、という思いがあったといえる。実際、聞き取り調査の結果はそれを示唆している。

例えば、ある 40 代の男性参加者は、父親が比較的早い時期に脳卒中で亡くなったため、コレステロールについて注意深く、自分を観察する必要性を感じていたと述べている。この男性がセルフトラッキングを試みる「動機」は、健康維持それ自体だったわけだ。他方、別のある若い参加者は、一つの物事に没頭しすぎて精根尽きてしまう「燃え尽き症候群」など

に悩まされており、日常生活のバランスをより効果的にとる方法を知りたいと考えて参加したという。この若者の「動機」は、健康維持よりも射程範囲の広いものだったといえる。

また、調査対象者の中には、自分よりも他者のために参加した人もいた。ある 30 代の母親は、子どもたちにとっての模範的な存在になると同時に、高齢化した際に他者の言いなりになるのではなく、自分の面倒を見られるようになりたいと考えて参加したと述べている。

このような聞き取り調査の結果として、この研究は、参加者の実に多くがセルフトラッキングによって自分を「生体情報」に分解することで、より良い影響を受けることを期待していたこと、そのために参加者は正確なデータを得ようと何度も測定を望んだこと、そして、最終的な成果に満足していたことを報告している。事実、20 代後半の参加者の一人は、データが自分の人生に影響を与え、幸福感を高めるための実用的で日常的な手段を提供してくれることに、感銘を受けたとさえ述べている。

この研究プロジェクトを主導したミンナ・ラッキンシュタインは、「動機」の多様さにもかかわらず、セルフトラッキングは「生体情報」の可視化というよりも、自分を「説得」する方法であるように見えると論じている。彼女のこの指摘に即せば、セルフトラッキングには自己を変革するための、大きな可能性があるといえる。

QS 運動の支持者たちは、まさにこの点にセルフトラッキングの利点を見ている。「ダメな」自己を変革する可能性が、セルフトラッキングによって拡大することを期待しているのだ。この期待の中には、しかし、世間の「普通」や「基準」から距離を取り、あくまでも「私」として生きたいという、別様な志も含まれることがある。この場合の「ダメさ」とは、社会や政府や企業が私たちに押し付けがちな、「尺度」を甘受するということだ。このような「尺度」に照らして自己を理解するのではなく、それを拒否し、「自分自身の専門家」として自らを創り上げること、これも QS 運動の一つのあり方なのである。

そこで次項では、そのような事例を紹介しよう。

自分自身の専門家

アリゾナ州立大のトーマス・キャットローとポートランド州立大のビリー・サンドバークは、QS サイトに投稿されたビデオログを研究対象とする中で、「自分自身の専門家」になろうとするセルフトラッカーたちの姿を見出している。ここでは、その中から四つの代表的な事例を取り上げておこう。

第一は、健康維持に関して独自の取り組みを行っている、ウィリアムという男性の事例だ。彼は血栓ができることを心配し、食生活の変化が血液凝固度にどのような影響を与えているかを知りたいと考えていた。そこで、彼は食生活を記録し、同時に毎週血液凝固度を検査することにした。その結果、自分の食生活と血液凝固度との関連に「気づき」、食生活をコントロールすることで、血液凝固度を目標の範囲内に保つことができるようになったという。

第二も、健康維持に関する事例だ。第一の事例と異なるのは、実践よりもデータの捉え方に独自性があることだ。ロジャーはリラックスに困難を抱えていた。心の中に浮かんでは消

える複雑な思考を調整できず、ポジティブな考えによってさえ気が散ってしまうことに悩んでいたのだ。そんなとき、彼は心拍が不安定に変動していることに「気づいた」。

そこで、彼は心拍変動を注意深くトラッキングし、心拍変動と注意散漫な状態との関連を探った。その結果、心拍変動が不安定になるときに呼吸を整えることで、注意散漫を抑制することに成功したのだ。つまり彼は、自分の思考の乱れを心拍変動に変換し、それに対処するという方法を見出したのである。

第三は、開発者が想定したアプリの目的に始終せずに、独自の目的のためにアプリを使用したカイランという男性の事例である。彼は移動ルートを記録・可視化する地図アプリを使っていた。あるとき、彼はこのアプリの地図上には、まだ訪れていない場所が多くあることに「気づいた」。彼は移動のトラッキングによって、もっと歩きたい、もっと探検したいという気持ちになり、自分を取り巻く環境との関係を見直すキッカケを得たという。

最後は、セルフトラッキングによって、自分のバイアスを知った女性の事例だ。ケルシーは、週に5冊の本を読むこと、そして自分が読む本の50%を女性の書き手に、30%は有色人種の書き手にすることを目標にしていた。これには、読書愛や読書習慣を取り戻すという目的があった。そこで彼女は、自分の読書をトラッキングし、読んだ本のレビューをブログに書くことにした。その記録は、彼女を驚かせるのに十分なものだった。というのも、それは、彼女が読んだほとんどが、実際には白人男性の本であることを示していたからだ。

彼女は、この原因は自分が利用しているSNSにあると「気づいた」。つまり、白人男性の本ばかりがオススメされる「フィルターバブル」に囚われていたのだ。彼女は、SNSに流れてくる情報を拾うのを止め、直接本を検索したり、知人に尋ねたりするようにした。その結果、ケルシーは、読書愛と読書習慣を取り戻すだけでなく、より自覚的な読書家になったという。

以上の四つの事例は、それぞれの取り組みや目的は異なるものの、セルフトラッキングによって「気づき」を得て、自分自身の考えや行動を改善したことに共通性がある。(D) セルフトラッカーたちは、このように何かのデータ化・定量化を通じて、自分自身を誰よりもよく知る存在になること、つまり「自分自身の専門家」になることで困難を乗り越えとともに、他ならぬ「私」として生きようとしているように見える。

出典：堀内進之介著『データ管理は私たちを幸福にするか？－自己追跡の倫理学』光文社（2022年）より抜粋し、出題のために一部を改変。

- 問1 下線部(A)「生体情報」として測定可能な項目にはどんなものがあるか、以下に例示する語句以外で3つ記述しなさい。
例) 血中酸素飽和度、心拍、血圧
- 問2 下線部(B)「定量化された自己(Quantified Self)」とはどのような試みか、筆者の説明に沿って80字程度で記述しなさい。
- 問3 下線部(C)「ユーザーがトラッキングを行う動機は、自分自身の健康管理に限定されるわけではない」とあるが、健康管理以外にどのような動機(目的)があるか、筆者の説明に沿って10字以上、50字以内で3つ記述しなさい。
- 問4 下線部(D)について、様々なセンサーが搭載されたスマートフォンやウェアラブルデバイスを用いて、あなたならどのようなセルフトラッキングを実施するか、①トラッキングする「生体情報」、②トラッキングする「動機(目的)」、③トラッキング前後で期待する「自分自身の考えや行動の変化」を含めて、あなたの考えを800字以内で記述しなさい。

令和 8 年度

名桜大学 国際学部
国際文化学科・国際観光産業学科

学校推薦型選抜

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙の所定の欄に受験番号と氏名を記入すること。
4. 解答は、解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
5. 解答欄は、解答用紙の表と裏にあるので注意すること。
6. 解答用紙の他に下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
7. 試験終了後、解答用紙のみ回収する。問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

【設問】 以下の文章を読み、「災害時に偽情報による社会の混乱を防ぐために、私たちはどのようなメディアリテラシーを身につけるべきか」について、あなたの考えを述べなさい。

答案を作成する際には次の指示に従うこと。

- 複数の段落で文章を構成すること。
- 題目、見出しは書かないこと。
- 700 字以上 800 字以内で書くこと。
- 一般的な原稿用紙の使い方に則って、横書きで書くこと。

地震は、あやしげな「予測」や「予知」が繰り返されてきた。偽情報による社会の混乱を防ぐために、専門機関による注意喚起が大切だ。

香港で「今夏、日本で大きな地震や津波が起きる」との流言が SNS などを通じ広がった。日本の漫画家の本や香港の有名な風水師の「予言」が発端という。香港と日本を結ぶ航空便の一部が欠航。日本政府観光局によると、5月の香港からの訪日観光客は前年より1割以上減った。

気象庁長官は、先月の定例会見で「完全にデマ、うそであり、注意いただきたい」と指摘し、「人間は見えないものに不安を覚え、その対象について何か断定的に述べることに、ずがる傾向があるかと思う。(根拠のない) 情報を出すことは非常に遺憾」と発言した。「はっきりとコメントしていきたい」として、同庁は防災情報の X (旧ツイッター) で「現在の科学的知見では、日時と場所、規模を特定した地震予知は不可能で、そのような予知情報はデマと考えられます」と日本語と英語で発信した。今月の会見でも注意を繰り返した。

内閣府防災公式 X も4月に、地震予知が困難であると発信している。

いずれも必要な対応だ。

話題となった本には、夢をもとに「災難が起きるのは、2025年7月」などと記されている。科学的でない大地震や富士山噴火などを言い立てる例は後を絶たない。大地震の後に、さらに大きな災害があるとの「うわさ話」もたびたびあり、SNS の普及で拡散に拍車がかかってきた。

占いのような言説は目くじらを立てるほどではなかろうが、個人や社会に悪影響を及ぼすことには注意が必要だ。

日本は地震が多く、あいまいな「予測」を公表しておけば、日常的に起きる地震を取り上げて「的中」と称することも可能だ。関心が集まった特定の時期だけに注意が向き、日常の備えが緩んでは元も子もない。

科学的な根拠がない情報、学問の裏付けがない予測に対しては、否定する情報を、関係省庁や学会などの専門機関が折に触れ、広く的確に発信するべきだ。放置すればそれを黙認することになり、社会不安や悪質商法の被害につながりかねない。

危うい情報に惑わされぬよう地震への理解を深めることが大切だ。たとえ善意でも不確

かな情報を広めれば、風評被害に結びつき、誰もが「加害者」になる危険性も忘れてはならない。メディアも、こうした情報を安易に取り上げることを慎まねばならない。

出典 社説「地震のうわさ 専門機関は情報発信を」、『朝日新聞』、2025 年 6 月 28 日、
東京朝刊、12 頁

*メディアリテラシーとは、放送番組やインターネット等各種メディアを主体的に読み解く能力や、メディアの特性を理解する能力、新たに普及する ICT 機器にアクセスし活用する能力、メディアを通じコミュニケーションを創造する能力等のことである。

（総務省 令和 3 年度版情報通信白書）

令和 8 年度
名桜大学 人間健康学部 スポーツ健康学科

学校推薦型選抜
帰国生徒特別選抜
外国人留学生特別選抜
編入学試験

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。
4. 解答方法は次のとおりである。
 - 1) 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
 - 2) 解答用紙の他に下書き用紙を配付するので取り違えないように注意すること。
 - 3) 試験問題の裏及び余白を下書きに使用してよい。
5. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

次の文章を読み、設問に答えなさい。

依存症当事者の回復や社会復帰を妨げないためには、どのような報道を心がけるべきか。依存症の予防教育・啓発に取り組む団体や精神科医らは、ガイドラインを昨年改訂し、薬物使用者の人格を否定するような報道は避け、実名報道は最大限慎重に検討するよう求めている。

薬物報道をめぐるのは、依存症の予防教育や啓発活動に取り組む NPO 法人 ASK（アルコール薬物問題全国市民協会）や精神科医の松本俊彦さんらが、2016 年に「薬物報道ガイドライン」を策定。依存症への誤った理解や偏見にもとづくバッシング報道などを避けるよう求めてきた。

具体的には、「白い粉」「注射器」といったイメージカットを使わない▽「人間やめますか」のように、薬物使用者の人格を否定するような表現を用いない▽「犯罪からの更生」だけでなく「病気からの回復」という文脈で取り扱う――などを盛り込んだ。

昨年 5 月、京都府の薬物依存症の回復施設で、入所者が違法薬物を使用した疑いで逮捕され、実名報道が相次いだ。これをきっかけに 11 月、ガイドラインが改訂された。

新たなガイドラインでは、デジタル記事がインターネット上に残り続ける「デジタルタトゥー」となり社会復帰の妨げになることから、実名報道には「特段の慎重さを要する」とした。また、薬物報道が「施設への相談・回復者の利用・社会復帰支援を妨げる原因となりうる」などの内容が加わった。

12 月のメディア向けの講演で、元 NHK アナウンサーで危険ドラッグの所持容疑などで逮捕された ASK の塚本堅一さんは「デジタルタトゥーの問題はとても大きく、自分も（当時の報道を見て）心がざわざわしたり、落ち込んだりすることも多い。一方で支援先を教えてくださいましたのもマスコミで、どんなメッセージを伝えていくかはとても大事だ」と話した。

松本さんは「実名報道やバッシング報道で、地域で（回復のために）一生懸命活動している人たちが孤立してしまう。助かるはずの人たちが回復施設から遠ざかることで、助からないこともあると意識してほしい」と話した。

出典：川野由起、薬物報道、社会復帰を考えて「バッシング、回復施設から遠ざかる」啓発団体など、

ガイドライン改定『朝日新聞』2025 年 3 月 3 日。

問題 あなたが考える薬物乱用対策について論じなさい。（1000 字以内）

令和 8 年度

名桜大学人間健康学部看護学科

学校推薦型選抜(地域枠推薦 A・B)

社会人特別選抜
編入学試験

総合問題

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 120 分である。
3. 解答用紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。
4. 解答方法は次のとおりである。
 - 1) 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
 - 2) 解答用紙の他に下書き用紙を配布するので取り違えないように注意すること。
 - 3) 試験問題の裏や余白を下書きに使用してもよい。
5. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

I 次の文章について設問に答えなさい。

低所得の人の死亡率は、高所得の人のおよそ 3 倍――。

健康長寿社会を目指し、全国の大学・国立研究所などの研究者が分析を進めている日本老年学的評価研究（Japan Gerontological Evaluation Study, JAGES）プロジェクトが、65 歳以上で要介護認定を受けていない人 2 万 8162 人を 4 年間にわたって追跡調査したところ、その間に死亡した男性高齢者は、高所得の人が 11.2%なのに対して、低所得の人はその 3 倍の 34.6%に及んでいるという衝撃的な調査を 2008 年に発表した。

所得で人の死が左右されるだけではない。住んでいる地域や雇用形態、家族構成の違いで病気になったり、寿命が短くなったりしてしまうという問題が、最近、日本社会で深刻化しつつあることがわかってきた。

たとえば、2014 年に東京都が発表した足立区と杉並区の 65 歳健康寿命（65 歳の人介護を必要とせず、健康で日常生活を支障なく送ることができる平均寿命）を見てみると、杉並区が男性で 83.19 歳、女性が 86.06 歳なのに対し、足立区は男性 81.44 歳、女性 84.42 歳と、2 歳近い差があることがわかった。さらに全国の健康寿命になると、1 位は男女ともに山梨県だが、最下位は男性では徳島県、女性では大阪府となり、その差は 3 歳以上にもなっている。

また、全日本民主医療機関連合会（民医連）の 2014 年の調査によると、雇用形態の違いが(a)疾病にも影響することがわかっている。たとえば、非正規雇用の人は正社員よりも、糖尿病の合併症である糖尿病網膜症を悪化させる割合が 1.5 倍高いというデータがあるのだ。

こうした社会問題は「健康格差」と呼ばれ、いま私たちの身の回りに確実に忍び寄っている。「健康格差」は、健康に対する自己管理能力の低さが原因ではなく、生まれ育った家庭環境や地域、就いた職業や所得などが原因で生じた病気のリスクや寿命など、私たち個人の健康状態に①気づかぬうちに格差が生まれてしまうことを指す。

背景にあるのは、「失われた 20 年」に代表される日本社会の構造的な変化だ。大きな要因としてあげられるのは、非正規雇用者の増大などの労働環境の激変と、それにもなって生じる収入格差の拡大である。正規雇用者に比べ、非正規雇用は不安定で賃金も著しく低い。たとえば、毎月勤労統計調査によると、一般労働者の給与が 34.3 万円であるのに対してパートタイム労働者は 9.5 万円と 3 分の 1 にも満たない。賞与もなければ、賃金のベースアップもない。こうした雇用格差によってジリジリと生じてくる所得格差が、日々の生活レベルや子どもの教育環境などの格差に(b)レンサし、健康も脅かしつつある。

「健康格差」は、何も特定の人に限った問題ではない。現役、子ども、高齢者、すべての世代で深刻化している。まず現役世代では、非正規雇用者の間で、糖尿病の問題が深刻化している。正社員との比較では、糖尿病合併症リスクは 5 割増にもなるという調査結果もある。

また、子どもたちの間では、貧困家庭を中心に肥満が広がっている。健康を維持するためにはバランスのとれた食生活を送ることが必要だが、家計に余裕のない家庭では、単価の高い野菜や果物などを購入できずに、比較的安い炭水化物を過多に摂取することが多い。そのため、給食がなくなる夏休みなどに食生活が乱れて、休み中に肥満化する子どもが増えているという。

そして高齢者でも、「下流老人」と言われる低所得の人ほど、お金がないため医療機関の受診を控えており、その結果は健康状態に②如実に表れていることがわかっている。「健康格差」研究の第一人者である国立長寿医療研究センター部長で千葉大学の近藤克則教授（こんどうかつのり）の研究によれば、具合が悪いのに医療機関の受診を控えたことがあると答えた高齢者は、年収 300 万円以上の人が 9.3%なのに対して、年収 150 万円未満の人は 13.3%。その理由として、年収 300 万円以上の人は「待ち時間」をあげた人が最も多かったが、年収 150 万円未満の人は「費用」をあげる人が最も多くなっていた。

さらに、住む地域によっても「健康格差」があることがわかってきた。それが「がん」へのかかりやすさだ。国立がん研究センターが都道府県ごとに、がんと診断された人口 10 万人あたりの患者数（罹患率）をまとめた調査によると、胃がんは男女ともに秋田県が最も高く、肺がんは男性が和歌山県、女性は石川県がワースト 1 位、乳がんは東京都が突出していることがわかった。一部のがんは、地域によって異なる生活習慣が、がんへのかかりやすさを左右していると考えられている。

バランスのとれた食生活と適度の休息さえとれていれば健康であったはずの人が、ここまでに列挙した理由が原因で健康を損ない短命に終わるとしたら、大きな問題だ。バブル崩壊後の社会構造の変化が、ついに国民の健康にまで影響を及ぼしてきたという意味で、「健康格差」は日本社会にとって看過することができない深刻な問題になってきた。

「健康格差」は、人の命の格差に直結していく取り返しのつかない社会問題だ。日本だけではなく、世界的な規模で起きていることから、WHO（世界保健機関）も警鐘を鳴らしている。WHO は「健康格差」を生み出す要因として、所得、地域、雇用形態、家族構成の 4 つが背景にあると指摘し、「健康格差」を解消するよう各国に対策を求めている。

こうした中、日本の「健康格差」問題に対し、世界を代表する公衆衛生の研究者も「このままにしておくと、日本の長寿大国は危ない」と警告している。そのひとりが、2015 年から 2016 年まで世界医師会会長を務めたマイケル・マーモット氏だ。マーモット氏はロンドン大学教授で、2000 年に疫学と「健康格差」の研究でナイト (knight) の称号を得ている。マーモット氏は、日本の貧困率が OECD（経済協力開発機構）先進 35 カ国中 7 番目に高いことを指摘し、世界に誇る国民皆保険制度が確立されている日本でも健康格差が拡大していると強く懸念している。国も当然、危機感を抱いている。平成 26 年版厚生労働白書に、「健康日本 21」（第 2 次）の基本的な方向として「健康格差の縮小」を取り組むべき筆頭項目に挙げた。国は「健康格差」を解消できれば、10 年間で 5 兆円の社会保障費を(c)ヨクセイできるとして、対策に乗り出している。

考えてみれば、健康は人が生きる上での基盤であるから当然とも思えるのだが、逆に言えば、その健康が脅かされるということは、まさに日本社会を下支えする基盤が揺らいでいる証であり、恐るべき問題が私たち一人一人の身にせまっていることでもある。

また同時に「健康格差」問題の解決には、乗り越えなければならない大きな壁があることもわかってきた。それは「健康は自己管理するもの」「健康は自己責任で解決すべき」という根強い(d)風潮だ。

出典：健康格差 あなたの寿命は社会が決める NHK スペシャル取材班 講談社現代新書 2017

設問 1 下線(a)、(d)の漢字の読みを答えなさい。(各 5 点)

設問 2 下線(b)、(c)を漢字に直しなさい。(各 5 点)

設問 3 下線①「気づかぬうちに格差が生まれてしまう」とあるが、それはなぜか。その説明として、最も適切なものを次の(1)～(5)から 1 つ選び番号で答えなさい。(5 点)

- (1) 非正規雇用者は所得が低く、バランスの取れた食事を摂ることが難しい上、正規雇用者と比べて自己管理能力も低い傾向にあるから。
- (2) 高齢者は所得にかかわらず「待ち時間」や「費用」といった理由から病院へ通うことを億劫^{おっくう}に感じており、具合が悪くても受診を控えてしまうから。
- (3) 住んでいる地域によって生活習慣に違いが生じることで、一部の「がん」へのかかりやすさに影響し、都道府県別の患者数に差が出ているから。
- (4) 貧困家庭の子どもは普段の食事で偏りがちな栄養を給食で補っているが、夏休みには食生活が乱れ、栄養失調が原因で体重が変化するから。
- (5) 日本は貧困率が低く保険制度も確立されているが、マーモット氏が指摘するように、近年になって格差が広がりつつあるから。

設問 4 下線②「如実」の意味として最も適切なものを次の(1)～(4)から 1 つ選び番号で答えなさい。(5 点)

- (1) 事実のとおりであること
- (2) 確実であるということ
- (3) 真実を見極めようとする事
- (4) 現実とかけ離れていること

設問5 本文で筆者が述べたいことを80字以上100字以内で要約しなさい。ただし、次の用語をすべて使用し、使用した用語には下線を付すこと。(10点)

健康格差	雇用格差	現役世代	子ども	高齢者
------	------	------	-----	-----

Ⅱ 次の文章は『新版生活健康科学（第2版）』10章の一部を抜粋したものである。図1～図5は出典より引用したもので、作問の都合から一部改変してある。この文章を読み、設問に答えなさい。

●社会経済状況

社会経済状況（Socioeconomic status：SES）が健康に影響することは古くから知られており、どの時代も経済的に貧しい人は裕福な人と比較して不健康で短命であるとされている。SESは収入や教育歴、就業状況等によって表されることが多く、日本においても、収入が少ないほど不健康な生活習慣である傾向が示されている（図1）。飲酒と睡眠については、収入が高い人で飲酒量や睡眠不足が多いという逆の関連を示すことが多いが、喫煙状況や検診の未受診、歯の健康などはSESの影響を受けやすく、世帯収入の低い人で不健康な生活習慣を取りやすい。このように、所得（経済）の格差が健康格差に繋がることは確かな事実として明らかにされている。

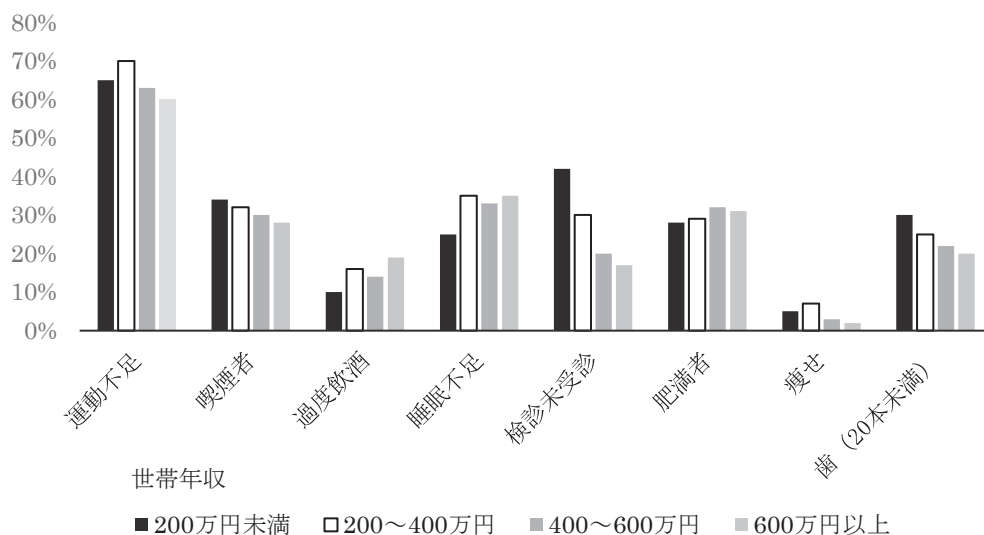


図1 世帯収入と生活習慣の関連（男性）

●健康格差の問題

日本はかつて「^(注1) 1億総中流」といわれ、家庭の経済格差の少ない社会だと考えられていたが、2018年における日本の^(注2) ジニ係数はOECD諸国の平均を上回る0.33であり、先進国においてやや高い（格差が大きい）状況にある。ジニ係数の増加はその集団全体の死亡率を高めることが示されており、所得格差の問題は所得の少ない人の健康だけでなく、その集団全体の健康状態に影響を及ぼす問題である。そのため、^(注3) 健康日本21（第二次）では、基本方針の筆頭に「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」を掲げており、「生活の質の向上」と「社会環境の質の向上」によってその目標達成を目指すことが示されている。さら

に、社会環境の質の向上を達成するために、「社会参加の機会の増加」「健康のための資源（保健・医療・福祉等のサービス）へのアクセスの改善と公平性の確保」「社会環境の改善」に取り組むことが挙げられている。すなわち、人と人とのつながりや人と社会とのつながりを豊かにし、様々なサービスが連携される社会環境を構築することで健康格差を縮小することが目指されている。

●人のつながりと健康の関連

4人でランチを食べに行った際、自分はAランチを食べたいと思っていたが、他の3人がBランチを選択した場合、「じゃ、私もBランチ」となったことはないだろうか。このような人との関係が行動に影響することを介して、健康状態にも影響することが示されている。例を挙げると、「肥満はアする」ことを示した研究が有名である。ある人が肥満になるとその人と親しい家族や友達も肥満になる可能性が高くなるというものである。もちろん肥満菌や肥満ウイルスなどがあるわけではなく、肥満になった人の考え方や態度、行動に影響されることによって広がっていくと考えられている。そしてこのつながりの影響は第3次まで（友達の友達の友達まで）影響することが確認されている。類は友を呼び、友は健康を呼ぶのである。このような研究の蓄積により、「社会的なつながり」は、タバコと同等かそれ以上に、また、お酒を飲み過ぎない、適度な運動をする、太り過ぎないといった生活習慣以上に寿命に影響することが明らかにされている。（図2）。また、逆に孤独が生活の質を低下させることも明らかにされており、イギリスでは2018年に孤独担当大臣という役職が創設された。やはり人間はイが困難な社会的動物なのである。

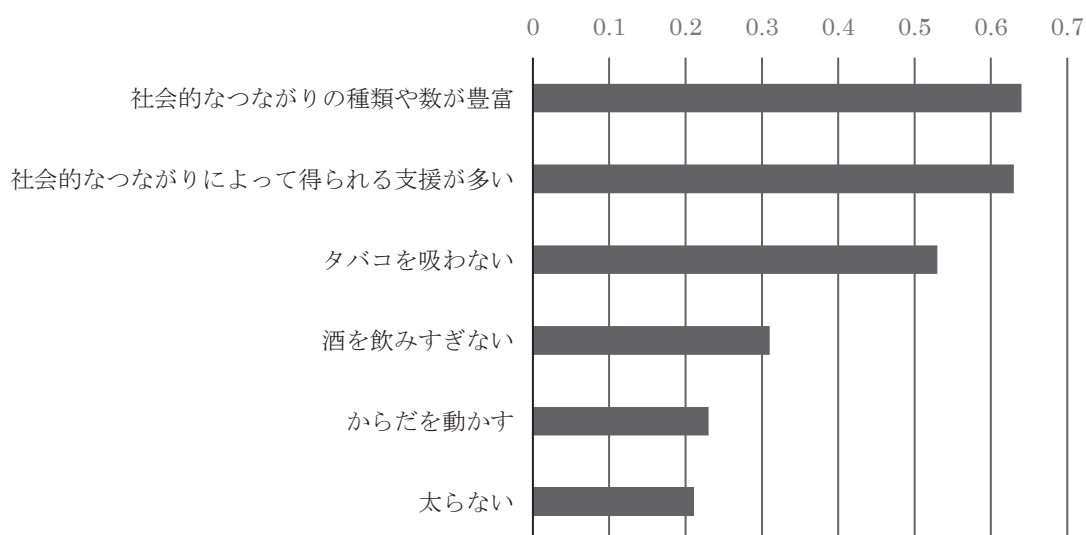


図2 社会的なつながりと死亡率低下の関連

●日本の（注4）ソーシャルキャピタル

健康日本 21 の基本方針の 1 つである「健康を支え、守るための社会環境の整備」を実現するために「ソーシャルキャピタルの向上」が挙げられ、地域のつながりを強化することが具体的な目標値として設定されている。ソーシャルキャピタルは形がないためイメージしにくいですが、地域で考えると、ご近所の結束力やまとまり・連帯感、協調行動やその基礎となるネットワーク、信頼感やお互い様という暗黙のルール（互酬性の規範）など、その地域内の「信頼」や「ネットワーク（つながり）」、「互助性」といったものが該当する。東日本大震災の時に日本中が東北を支援しようとした「絆」や女子サッカーのなでしこジャパンが 2011 年に W 杯で優勝した際の「チームワーク」なども良いソーシャルキャピタルといえる。

ソーシャルキャピタルが豊かな国では平均寿命が長く（図 3）、犯罪や虐待が少ないなど、その集団の健康と関連することが示されている。日本が健康長寿である理由として、ソーシャルキャピタルが高いことが大きな要因だと考えられている。海外では大震災などの災害が起こった際にはコンビニやスーパーマーケットなどで略奪が起こることが多いが、東日本大震災の際、日本では多くの人が行列に並び、皆が不足している生活用品を購入する順番を守った。また、日常生活においても、財布を落としても誰かが交番に届けてくれて戻って来るし、電車は時刻表通りに正確にやってくる。日本という国は良いチームである。近年は Social Networking Service（SNS）を活用したつながりが広がる一方で、近所の地域のつながりは弱くなる傾向にあるため、日本のソーシャルキャピタルが今後どのように変化するかが注目される。

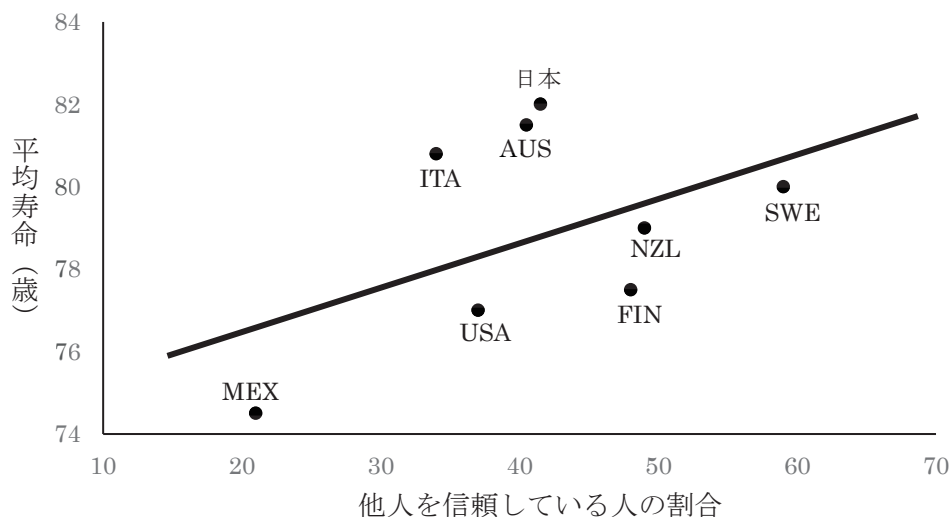


図 3 ソーシャルキャピタルと平均寿命の関連

●社会参加と健康の関連

これまで示した通り、社会的なつながりは健康に対してポジティブな影響をもたらすことが明らかにされているが、生涯にわたる社会的なつながりは高齢期になると減少することが知られている。超高齢社会にある日本では、一人暮らし高齢者が増加する問題が指摘されており、東京 23 区では、単身高齢者における孤独死の増加がみられている。社会とのつながりが減少することで人と会う機会が減少し、外出や人との会話が減少する。いわゆる「閉じこもり」の状態になるため、歩行能力（筋力やバランス能力）の低下や認知機能の低下、および生きがいがなく生活の質が低下する状態を招き、寝たきり、認知症といった要介護状態に至ることが示されている。日本の高齢者を対象とした多くの研究において、社会参加が要介護（図 4）や様々な健康リスクを低下させることが報告されている。また、社会的なつながりの裏返しである「社会的孤立」も死亡やうつ病発症のリスクとなることが示されており、興味深いことに同居をしていても食事を独りで食べている孤食状態にある高齢の男性は、誰かと一緒に食事をしている場合と比較して死亡リスクが約 1.5 倍高くなることも報告されている。

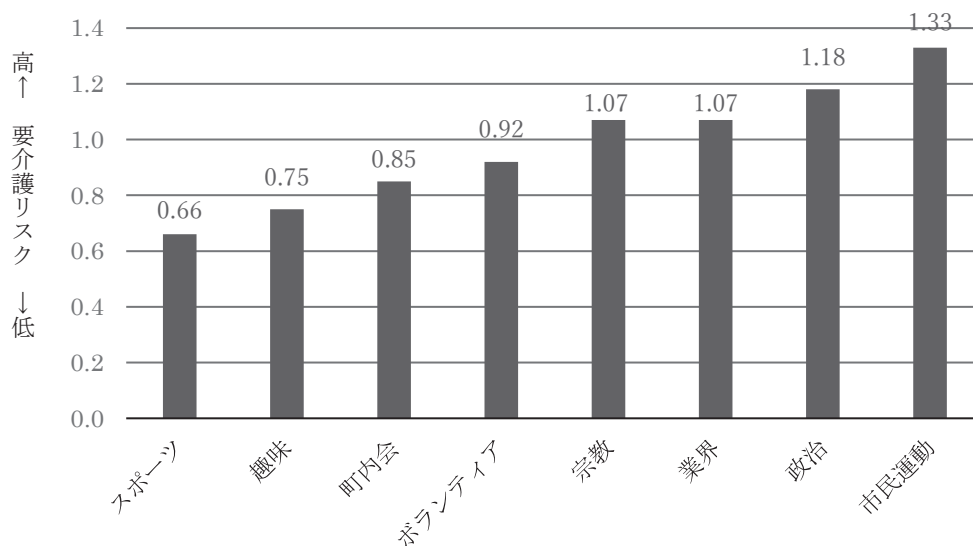


図 4 社会参加と要介護の関連

そのため現在日本では、主に高齢者を対象に、人が集まって交流するコミュニティ・サロンのような通いの場への参加を促す取り組みが各自治体で盛んに行われており、コミュニティ・サロンに参加することによって、要介護認定率や認知症発症率が減少することが報告されている（図5）。

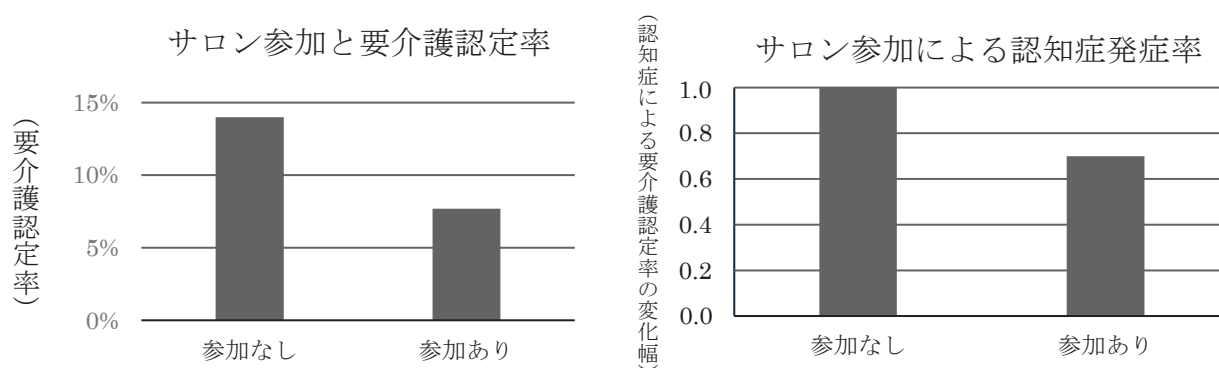


図5 コミュニティ・サロンへの参加と要介護、認知症発症との関連

(注1) 1億総中流 …… 1970年代、日本国民の大多数が自分の中流階級に属していると考えた「意識」のこと。

(注2) ジニ係数 …… 社会における所得分配の不平等さを表す指標。係数の範囲は0から1で、0に近いほど格差が少なく、1に近いほど格差が大きい状態。

(注3) 健康日本21 …… 国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針。

(注4) ソーシャルキャピタル …… 人々の協調行動を活発にすることによって、社会の効率性を高めることのできる社会的仕組みの特徴。

設問 1 図 1 からわかることとして、最も適切なものを次の(1)～(4)から 1 つ選び番号で答えなさい。(5 点)

- (1) 検診未受診者は、全員歯が 20 本未満になっている。
- (2) 世帯収入に比例して、肥満者の割合は増加する傾向にある。
- (3) 所得が低くなるほど、喫煙者の割合が高く、過度に飲酒する傾向にある。
- (4) 所得に関わらず、半数以上の人が運動不足の傾向にある。

設問 2 空欄 に入る適切な語句を次の(1)～(4)から 1 つ選び番号で答えなさい。また、空欄 に入るものを考えて 10 字以内で記述しなさい。(各 5 点)

- (1) 遺伝 (2) 伝染 (3) 波及 (4) 浸透

設問 3 図 2 からわかることとして、最も適切なものを次の(1)～(4)から 1 つ選び番号で答えなさい。(5 点)

- (1) 太らないことで死亡率を低下させる効果が期待できる。
- (2) 60%の人は社会的なつながりによって得られる支援が多い環境にある。
- (3) タバコを吸わない人の半数は、からだを動かす習慣がある。
- (4) 社会的なつながりの種類や数が豊富な人は、酒を飲みすぎても死亡率は上昇しない。

設問 4 図 3 の各国の平均値は直線 $y = 0.12x + 75.2$ になるとする。日本の平均寿命を 82 歳とし、他人を信頼している人の割合との関係が各国の平均と同じであるとした場合、日本の他人を信頼している人の割合は何%であってもおかしくないと考えられるか。計算して数値(%)を答えなさい。小数になる場合は、小数第 1 位を四捨五入して答えなさい。(10 点)

設問 5 図 3～図 5 からわかることをそれぞれ 80 字以上 100 字以内でまとめなさい。また、それをふまえた上で、社会的なつながりと健康についての自分の考えを 160 字以上 200 字以内でまとめなさい。(30 点)

Ⅲ 次の文章は、WHOが健康格差を一世代のうちになくすことを目指して、2008年8月に発表した報告書の一部であり、かつ、その一部を日本語に置き換えた文章である。この文章を読み、設問に答えなさい。

Overview

Social justice is a matter of life and death. It affects the way people live, their consequent chance of illness, and their risk of premature death. (a)We watch in wonder as life expectancy and good health continue to increase in parts of the world and in alarm as they fail to improve in others. A girl born today can expect to live for more than 80 years if she is born in some countries – but less than 45 years ①if she is born in others. Within countries there are dramatic differences in health that are closely linked with ②degrees of social disadvantage.

同じ国内であれ、異なる国の間であれ、このような格差は決して起こるべきではない。これらの健康の不公平、つまり避けることが可能な健康の格差は、人々が成長し、生活し、労働し、老いていく環境と、既存の保健医療システムが原因となって生じる。人々が生まれ、死にゆく環境条件を形成するのは、政治的、社会的、経済的な諸力である。政治政策および経済政策は、子どもが成長して潜在能力を全開させ、生き生きした生活を送ることができるか、それとも荒廃した生活を送ることになってしまうかを左右する。豊かな国でも貧しい国でも、(b)解決すべき健康問題の本質は収束する傾向にある。

The development of a society, rich or poor, can be judged by the quality of its population's health, how fairly health is distributed across the social spectrum, and the degree of protection provided from disadvantage as a result of ill-health. In the spirit of social justice, the Commission on Social Determinants of Health was set up by the World Health Organization (WHO) in 2005 to marshal the evidence on what can be done to promote health equity, and to foster a global movement to achieve it. As (c)the Commission has done its work, several countries and agencies have become partners seeking to frame policies and programmes, across the whole of society, that influence the social determinants of health and improve health equity. These countries and partners are in the forefront of a global movement.

本委員会は、WHO およびすべての政府に対して、健康の公平性を達成するために、健康の社会的決定要因に関して国際的な取り組みを先導することを求める。いまこそ各国政府や市民社会、WHO、そしてそのほかの③国際機関が、世界の人々の生活を改善するために連帯して行動を起こすことが不可欠である。一世代で健康の公平性を④達成することは、可能

であり、正義であり、いまこそそれをなすべき時である。

※出典：Closing the gap in a generation: health equity through action on the social determinants of health: Final report of the commission on social determinants of health (WHO, August 27, 2008)

(<https://www.who.int/publications/i/item/WHO-IER-CSDH-08.1>)

WHO 報告書邦訳：一世代のうちに格差をなくそう：健康の社会的決定要因に対する取り組みを通じた健康の公平性（日本福祉大学、2008 年）

(https://iris.who.int/bitstream/handle/10665/69832/WHO_IER_CSDH_08.1_jpn.pdf;sequence=73)

※出題のため原文から抜粋し一部改変した。

設問 1 下線(a)の文章を日本語にきなさい。(20 点)

設問 2 下線①、②は英語を日本語に、下線③、④は日本語を英語にきなさい。(各 5 点)

設問 3 下線(b)について述べている文章として、最も適切なものを次の(1)～(4)から 1 つ選び番号で答えなさい。(10 点)

- (1) The inequalities of conditions that affect people's health, such as poverty, healthcare systems, and unsafe environments.
- (2) The genetic factors that affect people's health, which are often considered fixed and unchangeable.
- (3) The lack of education on healthy behaviors, including regular exercise and a well-balanced diet.
- (4) Environmental pollution that causes health problems, such as industrial wastewater and polluted air.

設問 4 下線(c)について述べている文章として、最も適切なものを次の(1)～(4)から 1 つ選び番号で答えなさい。(10 点)

- (1) WHO は、各国の健康の社会的決定要因を明らかにする委員会を世界規模で設置する準備を始めた。
- (2) WHO は、国の貧富に関係なく、その国に住む人々の健康状態が社会階層に影響されなくなるように各国に呼びかけた。
- (3) 委員会は、すでに国民の健康の公平性を向上させた国の政策やプログラムを研究するために世界規模の調査を行った。
- (4) 委員会は、健康の公平性を促進するために必要な証拠を揃え、健康の公平性の達成に向けた世界的な運動を前進させた。

IV 消化に関する次の文章について設問に答えなさい。

ヒトの呼吸基質は大きく炭水化物、タンパク質、脂肪に分けられる。これらは食物として摂取後、消化しないと吸収することができない。食物は、まず口腔内で物理的に破碎された後、だ液に含まれる[ア]により、デンプンなどが分解される。その後、胃に送られ、胃液に含まれる[イ]によってタンパク質が分解される。次に、食物は十二指腸に送られるが、十二指腸には 2 種類の消化液が分泌されており、それがすい液と胆汁である。すい液はすい臓で作られ、胆汁は[ウ]で作られる。すい液には①消化酵素が多く含まれており、[ア]、トリプシン、[エ]により、炭水化物、タンパク質、脂肪は細かく分解されていく。胆汁は消化酵素を含まないが、[エ]のはたらきを助ける役割がある。このように、食物を吸収するためには小さな有機物にまで分解する必要があり、例えばタンパク質は、最終的には小腸のペプチターゼのはたらきにより[オ]にまで分解されてから吸収される。吸収されたグルコースや[オ]は、②血液の流れによって各細胞に届けられ、呼吸基質として利用される。

設問1 文章中の空欄[ア]～[オ]に入る適切な語句を答えなさい。なお、同じ空欄記号のところには同じ語句が入る。(各5点)

設問2 下線①に関する記述として、最も適切なものを次の(1)～(4)から1つ選び番号で答えなさい。(5点)

- (1) 消化酵素が作用すると、必ず二酸化炭素が発生する。
- (2) 消化酵素は基質の活性化エネルギーを上昇させることで、有機物を分解している。
- (3) 消化酵素は、すべて DNA の情報をもとに細胞内で合成されている。
- (4) 消化酵素は細胞外に分泌されると失活してしまう。

設問3 胃液が強酸性であることは、食物中のタンパク質を変性させて[イ]が効率的に作用することに役立っている。これ以外に、生体防御の観点でも胃液が強酸性であることは重要であると考えられている。どのように重要であるか簡潔に説明しなさい。(5点)

設問4 下線②に関する記述として、最も適切なものを次の(1)～(4)から1つ選び番号で答えなさい。(5点)

- (1) 動脈にはグルコースが含まれているが、静脈中にはグルコースは含まれない。
- (2) グルコースは血しょう中の抗体と結合して運ばれていく。
- (3) アミノ酸は、赤血球中のヘモグロビンと結合して運ばれていく。
- (4) 血液中のグルコースの濃度は、約 0.1%程度に維持されている。

令和 8 年度
名桜大学 人間健康学部 健康情報学科

学校推薦型選抜 外国人留学生特別選抜

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。
4. 解答方法は次のとおりである。
 - 1) 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
 - 2) 解答用紙の他に下書き用紙を配付するので取り違えないように注意すること。
 - 3) 試験問題の裏及び余白を下書きに使用してよい。
5. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

以下の文章を読んで、続く問題に答えなさい。

AI を使いこなせる人材になる

チャット GPT などの (A) 生成 AI の出力にはウソ (ハルシネーション) が含まれます。
「ネット上の誤情報を学習したせい」ではありません。生成 AI の教師データの設計そのものに由来するのです。よって、今と同じような方針で教師データを増やしたり、より良質のデータを学習したりすることでは、(B) ハルシネーションを根本的になくすことはできません。

現状の「大規模ニューラルネットワークと学習」による AI は、外れ値に弱い上、その外れ値での誤りを修正できるかどうかわかりません。外れ値を教師データに取り込むことで、全体の精度がむしろ下がる危険性があるからです。また、誤りを経験した直後に修正することもできません。モデルの再学習には時間がかかるためです。経験した誤りから「すぐに学べる」人間との大きな差です。

「人間の知的作業を完全に代替してくれる人工知能」の登場には、「大規模ニューラルネットワークと学習」以外の画期的な技術の登場を待つしかなさそうです。少なくともそれまでの間、チャット GPT をはじめとする AI たちは、蒸気機関や電子レンジの発明同様に、「使いこなす人間」の存在を前提とした「機械」に止まるはずです。

ただし、電子レンジと AI には大きな違いがあります。電子レンジは多くの人を使いこなし、家事の生産性を向上できたのに対して、チャット GPT によって生産性が3倍になるような人はごく限られるからです。

「まだ、みんなが AI に慣れていないからで、すぐに誰もがチャット GPT を使いこなせるようになる。特に子供たちは、早いうちに AI と対話させておけば、すぐに使いこなせるだろう」と言う人は、その前提となるスキルを甘く見積もりすぎています。「チャット GPT を使いこなすためのスキル？ もちろんプロンプトエンジニアリングですね！」と言う人は早合点しています。

チャット GPT とタッグを組んで生産性を上げるには、少なくともチャット GPT と遜色のない読み書きスキルが必要です。

私たちはチャット GPT の出力を、まず読んで理解できなければなりません。「なんかいい感じに書いてあるから OK」ではダメです。さらに出力を読んで、理解するだけでも不十分です。

なにしろ、相手は呼吸するように嘘をつきますから、ファクトチェックをする必要があります。書かれている内容を検索し、情報源を見つけ「読んで、理解」し、チャット GPT に誤りを指摘し、修正させます。そのためには、チャット GPT に任せるのではなく、自分でテキストを読みこなさなくてはなりません。仮に書かれていることが真実だったとしても、著作権侵害しないように、引用文献をつける必要に迫られることもあるでしょう。

そのことを理解せずに、「チャット GPT を使いこなす人を育てる＝学校でチャット GPT を使わせる」と早合点をしたことで、実は今、教育現場で混乱が広がっています。

たとえば、プログラミング言語の演習でチャット GPT の使用を許可した情報系学部があります。多くの学生が課題をそのままコピーし、「この仕様を満たすプログラムを書いてください」とチャット GPT に命令しました。

出力されたプログラムを試してみると、エラーが表示されました。プログラム言語に詳しい人ならば、エラーの内容を読み、チャット GPT のコードを読み返して、エラーの箇所を特定し、修正することができたでしょう。

ところが学生たちは、仕様もプログラミング言語も十分に理解できないままチャット GPT を使っていました。エラーが出ても、自分で修正することができません。そこで、エラーメッセージをコピーして、「こういうエラーが出ました。直してください」と命令することを繰り返しました。その結果、アドバイスする担当教員も、何をどう修正すればいいのかわからない代物ができあがってしまい、教育効果が下がってしまったそうです。

学校の自由研究などでも、チャット GPT の利用によって世界が広がり素晴らしいレポートを提出する子がいる一方で、見た目は流暢なのだけれど、ウソが混じっているものを提出する子が増えるでしょう。

成績をつける先生は、前者と後者を見分ける必要がありますが、チャット GPT のウソを学校の先生が見破ることができるのでしょうか。そうでなくても、教員は多忙です。ファクトチェックの余裕などないはずです。

教育現場でさらに頭が痛いのがテスト入試での不正です。スマホで入試問題を撮影し、ネットで送信し、第三者に解いてもらったというような新聞を賑わせる事件が近年増えています。第三者の通報により露見することが多いですが、チャット GPT に解かせれば、不正は発覚しにくくなるでしょう。インターネットを遮断できれば不正は防止できますが、すべての入試会場にネット遮断の工事をすると莫大な費用がかかります。

チャット GPT をはじめ、あらゆる生成 AI は、使い手の真の能力を超えることはできません。呼吸するようにウソをつきますし、著作権侵害も起こします。それをチェックし、生成 AI と対話しながら、より適切な出力になるようにコントロールするスキルが求められます。そのスキルがあれば、チャット GPT はあなたの生産性をきつと 2 倍にも 3 倍にも向上させてくれるでしょう。AI の欠点を理解した上で上手に使いこなすことが、AI が作る世界で生きる私たちに必要なスキルなのです。

実際に、仕事の効率が上がったと、チャット GPT を高く評価する人たちが大勢います。その作り方を訪ねると、「アイディア出しのための壁打ちに使う」、「これまでだったら学生や新入社員に下調べをさせていたような場面で使う」、「自分がやればできる内容だが、面倒なとき（例：英語でメールを書く、礼状を書く）に使う」と口を揃えます。それを基にして事実確認をしたり、ほかの AI に文法チェックをさせたり、おかしいところを修正したりすれば、仕事は非常に効率化できます。

私もそのとおりだと思います。それこそが、AI との上手なつき合い方なのです。ただし、どの使い方でも、「使い手の真の能力を超えていない」ことにぜひ注意してください。

私たちは、AI と競争して勝つ必要はありません。AI を使いこなして、つまり AI の助けを借りて、AI より賢くなればよいだけです。(C)「AI vs 人間」ではなく「人間×AI」です。

出典： 新井紀子著、『シン読解力：学力と人生を決めるもうひとつの読み方』、東洋経済新報社（2025 年）、より抜粋し、一部を改変。

問 1

筆者は、下線部(A)「生成 AI の出力にはウソ（ハルシネーション）が含まれます。」と記載があり、下線部(B)「ハルシネーションを根本的になくすことはできません。」と記載もしている。その理由について、本文中から抜き出さない（150 文字程度）。

問 2

問 1 について、筆者が述べているハルシネーションの対策について、本文中から抜き出さない（200 文字程度）。

問 3

下線部(C)『「AI vs 人間」ではなく「人間×AI」です。』と記載がある。「人間×AI」について、筆者のいう注意点を踏まえながら、具体例を交えてあなたの考えを 600 文字以内で記述しなさい。

令和 8 年度

名桜大学 国際学部
国際文化学科

編入学試験

事前提出型小論文

出題日時：令和 7 年 11 月 18 日（火）午前 10 時 30 分

注意事項

1. 解答用紙にインターネット出願整理番号及び氏名を必ず記入すること。
2. 事前提出型小論文の問題の指示に従って解答すること。
3. 指定された解答用紙を印刷し、手書き（鉛筆書き）で解答すること。
4. 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
5. 解答に際し、参考にした本やホームページ等がある場合は、「参考文献・資料等」を記入し、提出すること（無い場合はその旨を記入して提出すること）。複数枚になる場合は、適宜コピーして作成すること。
6. 事前提出型小論文の答案は、郵便局（ゆうゆう窓口含む）において、令和 7 年 11 月 19 日(水)の午前中までの消印で、簡易書留・速達で提出（送付）すること。提出日を過ぎた答案は受理しない。

【設問】 以下の文章を読み、伝統芸能あるいは伝統文化を継承する意義について、あなたの経験や知識などを踏まえて、自身の考えを述べなさい。

答案を作成するには次の指示に従うこと。

- 複数の段落で文章を構成すること。
- 題目、見出しは書かないこと。
- 1100 字以上 1200 字以内で書くこと。
- 一般的な原稿用紙の使い方に則って、横書きで書くこと。

私が、独立行政法人日本芸術文化振興会というところの理事長になって2年以上が過ぎた。この間、国立劇場の閉場があり、次の入札に向けての手続きがいろいろあって、いつ国立劇場が再開場できるのか、なかなか先が見通せない。それに伴ってどれほど負の効果があるのか、それは十分に認識している。

私は、自然人類学、進化生物学の研究者である。自然人類学とは、ヒトという生物がどのように進化して今のような姿になったのかを探る学問なので、芸術というヒトに固有の活動がなぜあるのかについて興味を持っている。

この2年間にわたって、なぜ日本の伝統芸能を国家的に守らねばならないのかについて考えてきた。なぜなら、日本文化は大事だ、日本文化の神髄は守らねばならない、などという掛け声はいくらでも聞かれるものの、それはなぜなのかの本筋は、必ずしも明らかではないからだ。

すべてのヒトの起源はアフリカだが、およそ7万年前にアフリカを出たヒトの集団はいくつにも分かれ、それぞれに固有の文化を築いてきた。日本文化は、何千とある文化のその一つに過ぎない。

西洋は、オペラやバレエなどの西洋文化を、国立劇場や国立のオペラ座その他で支えてきた。そこには、現在の世界の文化的潮流を創り、それを支えてきたのは自分たちだという自負がある。だから、国費で文化を支えるにあたって、さしたる特別な理由も必要ないほどのだろう。また、それを支えられるほど、基本的に豊かな国々なのだ。

しかし、西洋文化ではない日本ではどうか？

日本はその他の多様な文化の一つだというだけでは、それを国家的に支える理由としては、いまいち不十分に思える。とりわけ、経済的に余裕がなくなってきた現代ではそうではないか。そこで、より包括的な理由を考えてみた。

それには日本文化が、西洋の文化とはどこが違うのかを明らかにせねばならない。日本文化の独自性とは、たとえ言葉で表すものであっても、表面的に表れている言語以外の感情や気持ちが重要であるという表現と、そのような価値観。また、ヒトを自然の一部とみなし、自然を征服するのではなく、自然の移り変わりをそのままに受け入れてめぐる態度を持つこと、なのではないか。今の日本文化がどれほど西洋化しているとしても、こんな特徴は、陰に陽に保たれていると思うのだ。

ではなぜそれらを守り、継承する必要があるのか？

それは、西洋文明に対する強烈なアンチテーゼとしての価値にあるのだと思う。西洋文明が世界を席卷し、これまでの文明の動向を決めてきたのはその通りだ。そして、それが現在の地球環境問題を引き起こし、文明の存続自体を脅かしている。それに対し、そうではないやり方もあるのだ、ということを示すことが大事なのだと私は思う。

西洋と比較すると、一般にアジアは、日本と似たような自然観、価値観の文化であるように思う。だから、日本文化の独自性ばかりでなく、アジア諸国と協力して、アジア的自然観、価値観というものを一体として見せることも重要なのではないか。

しかし、日本もそうだが、世界中のすべての国々とその文化は、西洋文化に侵食されてきた。それはなぜか？ 単に植民地政策のためだけではなく、西洋文化には、それほどまでに人間性に訴えるところがあるのだろうか。

一つには、西洋諸国がこれまで、政治的にも経済的にも非常に強力であったからだ。強いものは憧れの対象となる。そして、西洋文化の産物は確かに人々の生活を便利で豊かにした。それだけではなく、西洋の人間観は、人間を至上の存在とするため、人間の欲望の達成を無制限に許すからなのではないか？

それでも、西洋の人間観・自然観だけが絶対ではない。そして、西洋的自然観の行き着くところが現在の地球環境問題だとすると、人間だけが特別で何をしてもしよいわけではないとする、アジア的自然観・人間観をもっとアピールする時が来たと思うのである。

そうは言っても、今の私たちの生活は、大部分、西洋文化に席卷されている。そこで、日本的要素が濃縮された伝統芸能が大切なのではないか？

出典：長谷川真理子（日本芸術文化振興会理事長）「時代の風：伝統芸能継承の意義 西洋以外の観点示す」（『毎日新聞』2025年7月20日 東京朝刊 p.2）

令和 8 年度

名桜大学 国際学部
国際観光産業学科

編入学試験

事前提出型小論文

出題日時：令和 7 年 11 月 18 日（火）午前 10 時 30 分

注意事項

1. 解答用紙にインターネット出願整理番号及び氏名を必ず記入すること。
2. 事前提出型小論文の問題の指示に従って解答すること。
3. 指定された解答用紙を印刷し、手書き（鉛筆書き）で解答すること。
4. 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
5. 解答に際し、参考にした本やホームページ等がある場合は、「参考文献・資料等」を記入し、提出すること（無い場合はその旨を記入して提出すること）。複数枚になる場合は、適宜コピーして作成すること。
6. 事前提出型小論文の答案は、郵便局（ゆうゆう窓口含む）において、令和 7 年 11 月 19 日(水)の午前中までの消印で、簡易書留・速達で提出（送付）すること。提出日を過ぎた答案は受理しない。

【設問】以下の文章を読み、二重価格の是非についてあなたの考えを述べなさい。

答案を作成するには次の指示に従うこと。

- 複数の段落で文章を構成すること。
- 題目、見出しは書かないこと。
- 1100字以上1200字以内で書くこと。
- 一般的な原稿用紙の使い方に則って、横書きで書くこと。

増え続ける訪日外国人客の消費をにらみ、通常より高い「二重価格」を設けようとする動きがある。観光施設の整備にあてたいといった場合もあるだろうが、合理的な理由と説明なしには、外国人差別と受け止められかねない。慎重な検討が必要だ。

議論を呼んだのが、世界遺産・姫路城の入城料だ。今年6月に、姫路市長が訪日客の料金を約4倍にする考えを示した。議会などから慎重意見が相次ぎ、市民は現行通りの1千円とし、市民以外は国籍を問わず、値上げする方向で検討されている。

城の混雑や木造建築への負担は観光客全体に由来する。一方で、姫路城は市民の憩いの場でもあり、財源に市税も含む市の予算で維持管理されている。市民か否かで料金を分けるのは妥当だろう。観光客にも納得がいくような引き上げ幅や収入の使途について、議論を深めてほしい。

大阪府では、府内を訪れる訪日客に一定の負担を求める徴収金制度の検討を知事が表明した。府の有識者会議では、平等で公正な徴収や目的の明確化が必要として慎重な意見が相次いだ。

8月に出た答申は、観光地のトイレや掲示板などの施策を充実するために宿泊税の引き上げを求めたが、訪日客への徴収金制度は外国の事例調査などの検討をさらに続けるとした。

確かに、途上国など一部の海外の観光施設では、外国人客に対する別料金を設定しているところもある。ただ、外国人客と地元の人々の経済的格差が極めて大きく、同一料金では現地の人たちが施設を訪れにくくなるといった事情がある場合が多い。

姫路城のような方法以外にも、学生への割引や訪問客が少ない時期は安くするといった手法はありうるだろう。いずれにしても、合理的な理由を示せるかが重要だ。

旺盛な需要をうまく取り込む工夫も考えたい。一部で実施しているように、市バスが混んで困るなら、観光地だけを巡る「特急」を新設して国籍を問わず料金を上乗せしたり、観光施設で外国語での案内や土産品を提供して別料金を取ったりする方法だ。

政府は、観光を「成長戦略の柱、地域活性化の切り札」と位置づけている。価格設定についても、各地の創意工夫を認めつつ、差別的な制度が生じないように、考え方を示していくべきだろう。

国際相互理解を深める機会でもある日本への旅行で、不公平だと感じられては台無しだ。「また来たい」と思ってもらえる国であり続けたい。

出典：「(社説) 観光「二重価格」 合理的な理由と説明を」 『朝日新聞』 2024.11.06 東京朝刊

令和 8 年度
名桜大学 人間健康学部 健康情報学科

3 年次編入学試験

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。
4. 解答方法は次のとおりである。
 - 1) 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
 - 2) 解答用紙の他に下書き用紙を配付するので取り違えないように注意すること。
 - 3) 試験問題の裏及び余白を下書きに使用してよい。
5. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

次の文章は、滋賀県大津市元市長、越直美氏の著書「公民連携まちづくりの実践」の一節である。
これを読んで、設問1、設問2に答えなさい。

新たなモビリティの導入に向けた実証実験の展開

自家用車の代替となる交通手段の必要性

住民の高齢化とバス運転士不足は、大津市内の様々な地域で、公共交通の危機として現実化していた。

例えば、葛川地域では、乗降客の減少により、路線バスが減便となった。

せいらんだい
晴嵐台地域では、高齢化により、バス停から自宅までの坂道を歩いていくことが困難になり、バス停と自宅を結ぶ交通手段が必要との声が挙がった。志賀地域では、路線バスのない地域で住民主体の自家用車での運送が行われていたが、高齢化により住民が運転できなくなり、代替手段が必要とされた。

それぞれの地域ごとの人口、人口密度、鉄道駅やバス停までの距離等が異なることから、大津市では、一律に新しい交通手段を検討するのではなく、それぞれの地域ごとに、地域住民とともに検討を進めた（図1）。

（中略）

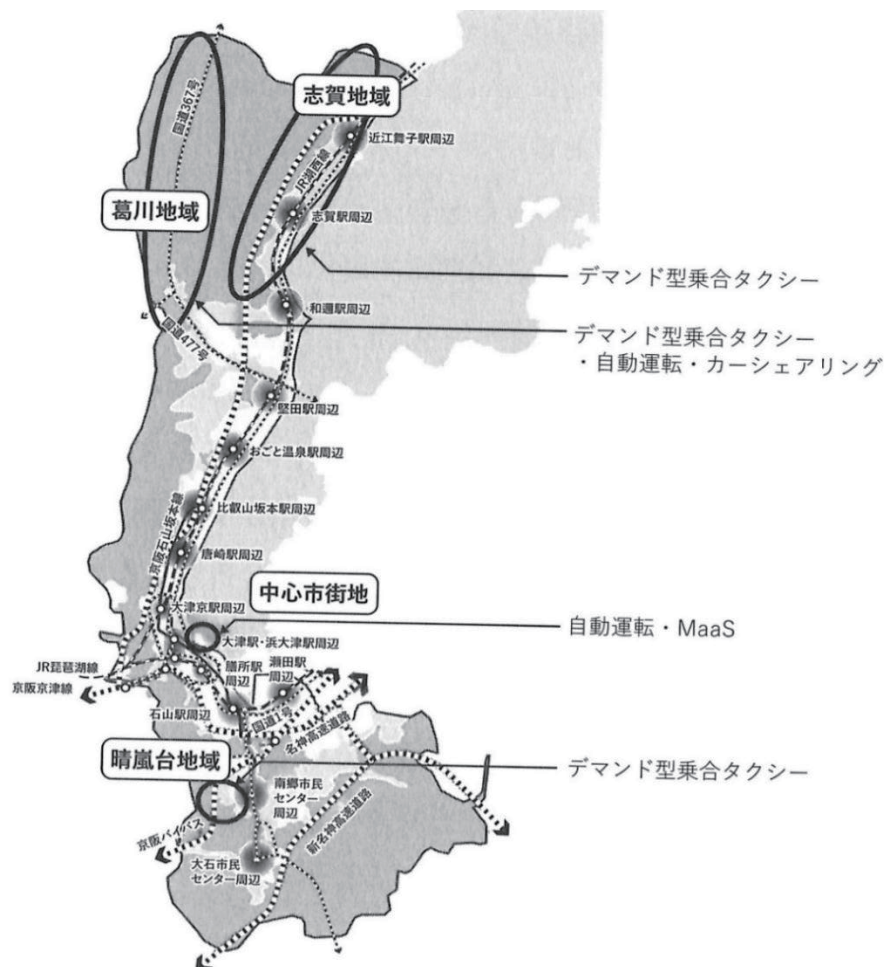


図1 大津市における新たなモビリティの導入

（出典：大津市交通戦略室「第3回大津市自動運転実用化プロジェクト会議」（2019年）4頁を基に筆者作成／注：上記は筆者の市長在任中の導入状況であり、現在は、導入箇所が増加している）

実用化を目指して実施した最初の実証実験

自動運転実用化プロジェクトでの検証を経て、2019 年 3 月、琵琶湖畔と大津駅の間で実証実験を行った。

自動運転の実証実験の場所を人口減少が進む地域ではなく、街中に設定したのは、単なる実証実験を超えて、当初から実用化を目指し、ビジネスモデルとしての採算性も考慮されたからである。

そして以下のとおり、実証実験の目的を明確にした。新しい技術だからこそ、事前に目的を設定し、事後に検証することが必要になる。

- ① 自動運転が地域に受け入れられるかを確認すること
- ② 実証実験したサービス（場所、内容）に対するニーズを確認すること
- ③ 現時点で運営面・安全面・技術面での課題を確認すること

自動運転のレベルは、レベル 3 とした。レベル 3 とは、国土交通省のレベル分けによれば、条件付き自動運転を意味し、システムが全ての運転タスクを実施するが、システムの介入要求等に対してドライバーが適切に対応することが必要とされる。したがって、大津市の場合も、運転手が搭乗し、常に安全監視を行いながら、実験を進めた。

乗客は、住民を含め募集した。乗客のアンケートを実施し、前記 3 つの目的が達成できているか検証した。

（中略）

アンケート結果から、自動運転バスが一定、住民に受け入れられることが分かったため、次年度に向け、自動運転実用化プロジェクトを継続し、2 度目の実証実験に向けて検討を進めた。

区域とレベルを拡大した 2 度目の実証実験

2019 年 11 月には、2 度目の実証実験を行った。1 度目の実証実験との差異はまず、運転区域を拡大したことである。経路に含まれる、琵琶湖ホテルとびわ湖大津プリンスホテルという 2 つのホテルを巻き込んで、地元住民だけでなく、観光客にも利用してもらうことができないかを検証した。

また、自動運転レベルは、1 度目と同じ最大レベル 3 としたが、ホテル駐車場でレベル 4 の実験を行った。レベル 4 とは、国土交通省のレベル分けによれば、特定条件下における完全自動運転を意味し、特定条件下においてシステムが全ての運転タスクを実施するものである。

2 度目の実証実験についても、乗客アンケートを行い、1 度目で設定した目的を達成できるか検証した。

例えば、自動運転バスが受け入れられるかについては、自動運転バスの走り方（速度、ブレーキ、車線変更）について、約 80%の乗客が、「安全」または「少し安全」と回答した。また、実用化後の自動運転バスについて、約 80%の方が「使ってみたい」または「いずれ使ってみたい」と回答した。

このような結果から、住民からは自動運転がおおむね受け入れられたものと考え、今後の実用化を目指すことになった。

（中略）

「住民の足」の確保に向けた試行錯誤と課題

大津市では、自動運転と MaaS に加え、住民の交通手段の確保のために、以下の取り組みを行った。

(中略)

デマンド型乗合タクシー

志賀地域、晴嵐台地域および葛川地域においては、デマンド型乗合タクシーの導入を進めた。ここでいう「デマンド型乗合タクシー」とは、乗客が事前に予約をした上で、複数の乗客を同時に乗車させるタクシーを意味する。それぞれの地域の特性と導入の経緯は、表1記載のとおりである。

以下、それぞれの特徴を具体的に述べる。

志賀地域の特徴

志賀地域においては、導入当初の2015年度、以下のような仕組みで開始した。

- ① 事前に利用者登録をする。
- ② 利用前日の午後5時までに予約の電話をする。
- ③ 自宅までタクシーが迎えに来て、目的地まで移動する。
- ④ 料金は大人300円から1,500円。

そして、利用者アンケートを重ね、より住民が利用しやすいように、予約方法、利用地域および利用料金等の改訂を重ねた。

(中略)

ポイントは、市からの補助金頼みで運行を続けるのではなく、多くの住民に利用されることを目指した点である。すなわち、すべて補助金で賄うとなると、乗客が減っても同じ体制で運行が続き、改善がなされない。そこで、運行経費全体に占める運賃収入および広告料等の収入(収益率)が25%になることを目標とし、目標に達しない場合には、継続しないことを想定した。

結果としては、収益率は上昇を続け、2019年度には50%近くとなった。当初の収益率25%の目標は、他の自治体の事例を参考にした上でより高い数値として設定したものであったが、それを上回る結果となった。

その理由としては、乗車回数が伸びていることから分かるように、住民がより利用しやすい運行方法へと改善を続けたこと、さらに、業務委託費用等の削減に努めたことがある。

晴嵐台地域の特徴

晴嵐台地域においても、基本的な仕組みは志賀地域と同様である。晴嵐台地域においては、バス停だけではなく、住民がよく利用する場所として、地域のスーパー、病院、銀行等を停留所に追加した。

晴嵐台地域では、志賀地域と比較し当初から収益率が40%に達していた。理由としては、大規模団地内の住宅が近接しており、またバス停までの距離が1kmと短く、志賀地域と比較して運行費用を抑えられることが挙げられる。同じデマンド型乗合タクシーといっても、地域の特性によって収益率は異なるのである。

葛川地域の特徴

葛川地域においても、基本的な仕組みは志賀地域と同様である。葛川地域では、収益率が17%から30%に上昇したが、志賀地域や晴嵐台地域の収益率には達しなかった。これは、駅までの距離が約20kmと長距離であるため、運行経費が高くなるためである。

表 1 地域特性とデマンド型乗合タクシー導入の経緯

	志賀地域	晴嵐台地域	葛川地域
人口（2021 年）	17,212 人	1,271 人	223 人
地域の特徴	大津市北部に位置し市街化調整区域が広がる	昭和 50 年代に開発された大規模団地	大津市と京都市の市界に位置する山間部
最寄り駅との関係	南北約 15km の地域に JR 湖西線 6 駅が存在	最寄りバス停まで 1km	JR 堅田駅まで約 20km
導入の経緯	路線バスが運行していない地域において、地域 NPO が移動支援事業を行っていたが、高齢化等により継続が困難になった。	住民がバス停まで歩いていたが、高齢化により、急な坂道を歩くことが困難となった	2016 年、路線バスのダイヤ改正により 1 日 3 往復が 2 往復に減便となった
開始時期	2015 年 10 月	2017 年 11 月	2016 年 7 月

デマンド型乗合タクシーの利点と課題

大津市では、交通不便地にデマンド型乗合タクシーを導入したが、それは、以下のようなメリットがあったからである。

メリット① 法的整理が容易である

道路運送法上、タクシー事業者が乗合で運送することは、3 条 1 号イの一般乗合旅客自動車運送事業の許可(4 条 1 項)を受けて行うことができるほか、21 条 2 号の「一般乗合旅客自動車運送事業者によることが困難な場合において、一時的な需要のために国土交通大臣の許可を受けて地域及び期間を限定して行うとき」に該当するものとして地域および期間を限定して実証実験により行うことも可能である。

また、大津市では、活性化協議会を事業主体としたが、道路運送法 9 条 4 項により、「地域における需要に応じ当該地域の住民の生活に必要な旅客輸送の確保その他の旅客の利便の増進を図るために乗合旅客の運送を行う場合」において、関係者間で協議が調ったときは、運賃等の設定等について届出で足りることになる。

後述のとおり、いわゆる「白タク」が法律上認められない中で、乗合タクシーについては、明確な法的整理がなされている。

メリット② 利用者の利便性に資する

利用者にとってバスと比較したデマンド型乗合タクシーのメリットは、その設計にもよるが、(1)バスの時間に合わせることなく、自分の外出したい時間に外出できること、(2)バス停まで歩かなくても家またはその付近までタクシーが迎えに来ることが挙げられる。

メリット③ 経費が抑えられる

葛川地域ではバスが減便され、デマンド型乗合タクシーを開始した。葛川地域における 2018 年度の運行業務委託料は、112 万円である。バスが減便される前は、大津市がバス会社に対して補助金を支払っていたが、補助金の額と比較し、デマンド型乗合タクシーの運行業務委託料は大幅に少ない。結果として、バスからデマンド型乗合タクシーに移行することにより、市の負担も減少した。

メリット④ 事業者との軋轢^{あつれき}が少ない

実務上、大きな利点としては、地元のタクシー事業者との軋轢が少ないことが挙げられる。後述のとおり、住民自らが運転を担うライドシェアやそれに近い形態を実施する場合には、タクシーと競合することになり、地元のタクシー事業者が反対することがある。そして、単に反対というだけでなく、地元のタクシー事業者が、大津市の活性化協議会のように、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 6 条 1 項に基づく協議会の法定の構成員となっている場合には、当該協議会の計画や事業自体が進まない事態も生じうる。

これに対して、デマンド型乗合タクシー事業を地元のタクシー事業者に委託する場合には、そのような軋轢が少なく、スムーズに事業を進めることができる。

このようにデマンド型乗合タクシーはその利点が大きく、導入も容易であることから、私の市長退任後も、大津市での運行地域はさらに拡大している。

一方で課題としては、大津市では、乗客の利便性に資する運行体制の改善と業務委託費用等のコストの削減を行い、収益率が 50% 近い地域もあるが、完全に市の負担なしで運行するのは困難である。そこで、新たな交通手段として、コミュニティ・カーシェアリングを開始することとした。

コミュニティ・カーシェアリングの仕組み

大津市は、2019 年 7 月、一般社団法人日本カーシェアリング協会との間で「コミュニティ・カーシェアリングの普及促進に関する連携協定」を締結し、葛川地域において、コミュニティ・カーシェアリングを開始した。コミュニティ・カーシェアリングは、地域コミュニティで車をシェア（共同利用）する活動である。東日本大震災の後、石巻市の仮設住宅で始まり、大津市は、関西における初めてのケースとなった。

コミュニティ・カーシェアリングの仕組みは以下のとおりである。

- ① 地域コミュニティで「カーシェア会」を設立し、自動車を共同で所有またはリースする。
- ② カーシェア会の会員が、ドライバーや予約等の役割を担う。
- ③ カーシェア会の会員が、自動車を乗合で利用し、外出する。

カーシェアリングの法的整理と課題

このカーシェアリングの仕組みのポイントは、いわゆる「白タク」に該当しないように設計することである。

道路運送法 78 条は、自家用自動車は有償で運送の用に供してはならないと規定する。海外では、Uber や Grab 等のライドシェアサービスが定着し、一般ドライバーが配車アプリを利用し乗客を運送している。これは、乗客が一般ドライバーに対して運送の対価を支払うことになるため、「有償で」自家用自動車を運送の用に供したことになり、日本では認められない。

コミュニティ・カーシェアリングが異なるのは、ドライバーは無報酬で活動する点である。したがって、「有償」とはならない。また、車両の利用に要したガソリン代等の経費についても、固定の料金をあらかじめ定めて支払うのではなく、精算時に分担額を確定して共同使用者で平等に分担を行う仕組みとしている。さらに、利用者は、カーシェア会を通して自ら車両の共同利用者として自動車の利用権限を持っており、ドライバーは運転行為の提供のみを行うことにより、「自家用自動車を運送の用に供する」のではなく、運転代行と解することもできる。したがって、道路運送法に違反しないこととなる。

この仕組みの一番の課題は、ドライバーが報酬を受け取れないことにある。ボランティアで運転するドライバーが見つからなければ、仕組み自体が成り立たない。また、ボランティアでドライバーを引き受ける住民がいたとしても、ドライバーの負担が重くなりすぎると、続かない。

翻って考えれば、道路運送法 78 条の改正、すなわち「白タク」規制の撤廃や緩和をするか否かという問題に帰着する。これまで、タクシー事業者等の反対があり、自家用有償旅客運送登録制度や国家戦略特区等の非常に限定的な例外しか認められてこなかった。しかし、急激な人口減少と高齢化が進み、鉄道やバスといった公共交通を維持することが困難となる中、自治体の補助金頼みではない持続可能な移動手段の確保が急務である。地域住民の足を確保するために、道路運送法 78 条の改正に正面から取り組むべき時期に来ている。

出典：越直美著『公民連携まちづくりの実践 公共資産の活用とスマートシティ』学芸出版社(2021 年)より抜粋し、出題のために一部を改変。

設問 1

デマンド型乗合タクシーのメリットは何であるか、本文から読み取れることを 300 字以内で説明しなさい。

設問 2

公共交通の課題解決において、新たなモビリティの導入にデジタル技術を組み合わせることで、どのような可能性が開けると考えますか。あなたの考えを 500 字以内で具体的に述べなさい。新たなモビリティがどのようなものかは、本文の内容を参考にしてよい。

令和 8 年度

名桜大学 国際学部
国際文化学科・国際観光産業学科

外国人留学生特別選抜

事前提出型小論文

出題日時：令和 7 年 11 月 18 日（火）午前 10 時 30 分

注意事項

1. 解答用紙にインターネット出願整理番号及び氏名を必ず記入すること。
2. 事前提出型小論文の問題の指示に従って解答すること。
3. 指定された解答用紙を印刷し、手書き（鉛筆書き）で解答すること。
4. 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
5. 解答に際し、参考にした本やホームページ等がある場合は、「参考文献・資料等」を記入し、提出すること（無い場合はその旨を記入して提出すること）。複数枚になる場合は、適宜コピーして作成すること。
6. 事前提出型小論文の答案は、郵便局（ゆうゆう窓口含む）において、令和 7 年 11 月 19 日（水）の午前中までの消印で、簡易書留・速達で提出（送付）すること。提出日を過ぎた答案は受理しない。

【設問】

翻訳アプリの発達により「言語の壁」はなくなりつつある。外国人従業員を多く雇用している企業の中には、スマートフォンの翻訳アプリを活用し、母国語で働くことができる環境の整備に力を入れているところもある。今年開催された大阪万博においても翻訳アプリが活用された。外国語を話すことができなくても様々な国の人々とコミュニケーションをとることが可能となってきた現代において、外国語（日本語など）を学ぶことにどのような意義があるのだろうか。あなたの考えを述べなさい。

答案を作成する際には次の指示に従うこと。

- 複数の段落で文章を構成すること。
- 題目、見出しは書かないこと。
- 700 文字以上 800 文字以内で書くこと。
- 一般的な原稿用紙の使い方に則って、横書きで書くこと。

令和 8 年度

名桜大学 国際学部
国際文化学科・国際観光産業学科

一般選抜(前期日程)

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙の所定の欄に受験番号と氏名を記入すること。
4. 解答は、解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
5. 解答欄は、解答用紙の表と裏にあるので注意すること。
6. 解答用紙の他に下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
7. 試験終了後、解答用紙のみ回収する。問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

【設問】 以下の文章を読み、「障害の社会モデル」という考え方を踏まえ、「障害」の少ない社会にするために必要なことについて論じなさい。

答案を作成する際には次の指示に従うこと。

- 複数の段落で文章を構成すること。
- 題目、見出しは書かないこと。
- 700 字以上 800 字以内で書くこと。
- 一般的な原稿用紙の使い方に則って、横書きで書くこと。

(前略)

私たちが生きる社会は、人間がつくった人工物である。あらゆる制度も、道路や建物も、恣意的にそのかたちが決められている。それらは大抵の場合、多数派に最適化するかたちで設計されてきた。お店の入口の段差や、階段しかない地下のライブハウスや、音声通話のみの予約システム、介助犬の入店拒否——「障害者」と呼ばれる人々にとって「障害」とは、人がつくった環境やルールによって発生する困りごとなのだ。そうであれば「障害」に対応する責任は「障害者」個人ではなくて、社会にある。だから社会の側が、より多くの多様な人々を想定したつくりが変わっていくことが、「障害の社会モデル」を基にした障害者権利条約を批准する日本の基本方針となっている(近年ではさらに「社会モデル」を補完する「人権モデル」も重視されるようになった。「人権モデル」は、障害者を人権の主体であるとする考え方だ)。

そうは言っても障害のある人は、個人の身体の機能そのものに生きにくさが存在するのでは？と思われるだろうか。しかし、たとえば市川沙央という人間は先天性ミオパチーという難病を最初から持って生まれたが、障害者として生まれたわけではない。病気は画期的な治療法が開発されれば治る場合もあるし、逆に今現在は健常者とカテゴライズされる人だって、健康や標準的な身体を失って社会生活に困難を感じるようにならないとも限らない(人を脅すような論法が私は好きじゃないので、このことを言うときいつも忸怩(じくじ)たるものがあるけれど)。歴史的な経緯としても「障害者」は、標準から外れた者を峻別して定義する近代社会の産物だ。繰り返しになるが、「障害」は「社会」がつくった事象であって、特に、「私」が「社会」と関わろうとすると、「障害者」とカテゴライズされるべき「障害」が発生する。「障害者」とはそういう言葉である。

(中略)

さて、私が社会の側の「障害」として最も問題視してきた課題が、読書におけるバリアだ。

2019年に施行されたいわゆる「読書バリアフリー法」(視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律)は、「障害の有無にかかわらず全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現」をめざす法律だ。残念ながら障害者の読書環境は、まだまだ整備が進んでおらず、少なくない障害者が読書行為に困難を抱えてきたこと自体、あまり知られていない。『ハンチバック』(出題者注:筆者市川沙央の芥川賞受賞作)の中で重度障害者の主人公はこう訴える。「私は紙の本を憎んでいた。目が見えるこ

と、本が持てること、ページがめくれること、読書姿勢が保てること、書店へ自由に買いに行けること、——5つの健全性を満たすことを要求する読書文化のマチズモ（出題者注：強い権力意識）を憎んでいた。その特権性に気づかない『本好き』たちの無知な傲慢さを憎んでいた。」

テクノロジーはさまざまな「障害」を克服する。移動に困難のある人をインターネットは距離と段差から解放するし、肢体不自由の人や目の不自由な人を電子書籍が不自由から解放する。録音図書やオーディオブックもそう。デジタルだけでなく、大活字本、点字図書、LLブック、触る絵本など、標準的な紙の本の読書が難しい人々を困難から解放する工夫がなされた本が、読書文化をより多くの人々に広げていく。各種の障害特性によるニーズを意識すれば、各メディアの利点と必要性が明らかとなる。もちろん紙の本を必要とする障害特性もある。求められているのは、選択肢の保証だ。

「本」のかたちが紙の本に限定されることで読書から排除されてきた／（老化や罹病、受傷により）これから排除される人々を、読書バリアフリーの実現によって「障害」から解放したい。「読書バリアフリー法」の理念が社会のすみずみに普及したとき、読書は真の意味で文化的行為となるのだ。

出典 市川沙央、「『障害の社会モデル』を理解して読書バリアフリーの実現を」、文春ムック『文藝春秋オピニオン 2024年の論点100』、文藝春秋、2024年、pp.38-39
出題に際して、表記を改めたところがある。

令和 8(2026)年度

名桜大学 国際学部

国際文化学科・国際観光産業学科

一般選抜(前期日程)

英 語

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙の所定の欄に受験番号と氏名を記入すること。
4. 解答欄は、解答用紙の表と裏にあるので注意すること。
5. 試験終了後、解答用紙のみ回収する。問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

第1問

以下の Reading A を読み、問 1 から問 10 までの質問で最も適当な答えをそれぞれ下の A) ~D)の中から 1 つ選びなさい。文章の前の番号は段落を示しています。また、*を付した語には注を付してあります。(配点 50)

Reading A

- (1) The ① feral child—a child raised by wild animals—is common in myth and folklore*. Feral children are typically thought of as having been raised without human parental contact. A boy or girl raised by wolves—or bears or apes*—is the original “wild child,” often having little or no language ability or manners. Because feral children lack socialization*, they are sometimes considered to represent a pure natural human state.
- (2) Stories of feral children date back at least to Romulus and Remus, the twin brothers of Roman mythology* rescued from certain death and raised by a wolf. In modern times, the feral child image evokes* a strong romanticism for many people. This was especially true at the turn of the last century. Rudyard Kipling made a hero of the feral child Mowgli—an Indian boy raised by wolves—in his classic and wildly popular 1894 collection of stories *The Jungle Book*. Writer Edgar Rice Burroughs created Tarzan, a boy raised by African apes, in the early 1900s, and his character remains popular in books and film a century later.
- (3) These are, of course, fictional feral children, but what about real ones? A story recounted* in the *Reader's Digest* book *Mysteries of the Unexplained* shows that feral children date back many centuries: “On July 27, 1724, the boy who came to be called Wild Peter was captured near the German town of Hamelin. He appeared to be about 12 years old. He could not speak and ate only vegetables and grass [...]; at first he rejected bread. The story of the wild boy spread, and in February 1726 King George I of England sent for him.”
- (4) The boy became a celebrated case, and ② turned out to be more influential than he could have imagined: the French political philosopher Jean-Jacques Rousseau pointed to this feral child as an example of a “natural man,” one untainted* by modern life or learning. However, ③ questions were raised about Peter's story: “a German naturalist* and scholar later examined all the earliest documents on Wild Peter and concluded that he must have lived with people until shortly before he was captured, because he wore a rag* around his neck and parts of his body were pale

rather than tanned*, suggesting that he had worn trousers.” Wild Peter turned out to be just Peter.

- (5) Another celebrated account of feral children came from a reverend* named J.A.L. Singh, who in the 1920s discovered two young girls (one about 18 months old, the other about 8 years old) in Bengal, India, who were raised by wolves. Singh claimed that the girls, whom he named Amala and Kamala, preferred raw meat, walked on all fours* and howled* at the moon like a wolf. He tried, with limited success, to get them to speak and walk upright. The case aroused* great interest, and several books were written about their mysterious case, including one on child development.
- (6) Over the centuries many stories of feral children have been told; fortunately, virtually all of them have later been revealed as ④ hoaxes. In the strange case of the Indian girls Amala and Kamala, for example, later research concluded that though the girls did exist, they had not been raised by wolves, but instead suffered from developmental and birth defects. There was no independent corroboration* of Singh’s claims (we only have his diary), and it is generally accepted that he faked* or exaggerated his interaction* with the feral children.
- (7) More recently, there was a 1997 memoir* of a young Jewish girl who escaped the German Holocaust* by fleeing into the forest where she was raised by a pack of wolves. The book, *Misha: A Memoir of the Holocaust Years*, was a bestseller* before finally being exposed as a fictional hoax. And in September 2011, a mysterious teenager calling himself Ray showed up at a police station in Germany, claiming to have lived alone in a forest for at least five years. The boy, who was in good health and spoke English and German, claimed not to know his identity. After nearly a year of investigation, the police discovered that “Ray” was actually a 21-year-old man who got bored with his life in the Netherlands* and decided to quit his job and reinvent* himself as a semi-*feral teen.
- (8) Feral children—if they ever truly existed—are relics* of the past. Except in the most remote regions of the world (such as tribes in the Amazon jungle), certificates are issued for live births, and it’s unlikely that a child would be born and somehow completely disappear into the wild to be raised by animals. Even if a family lived in the remote jungle and both parents died suddenly, the lost infant or child would likely starve to death or be eaten by wild animals instead of being nurtured* into adolescence* by them. [...]

*folklore: 民間伝承

*ape: 類人猿

*socialization: 社会性

*mythology: 神話

*evoke: 呼び起こす

*recount: 詳しく話す

*untainted: 汚されていない

*naturalist: 動植物研究家

*rag: ボロ布

*tanned: 日焼けしている

*reverend: 牧師

*all fours: 四つ足（人間の手足）

*howl: 遠吠えする

*arouse: 呼び起こす

*corroboration: 裏付け

*fake: 見せかける

*interaction: 関わり

*memoir: 回想録

*Holocaust: ホロコースト

*bestseller: ベストセラー

*Netherlands: オランダ

*reinvent: 変身する

*semi-: 半

*relic: 遺物

*nurture: 育てる

*adolescence: 思春期

(出典 : Radford, B. (2013, Nov. 28). Feral Children: Lore of the Wild Child. *Life Science*.

<https://www.livescience.com/41590-feral-children.html>. 出題のため一部改編)

Comprehension Questions

問 1. According to paragraph (1), which of the following is the most accurate definition of a

① feral child?

- A) a child who grew up outside of human society
- B) a child who has very bad manners
- C) a child who spends a lot of time in nature
- D) a child who studies plants and animals in school

問 2. What is the connection between Romulus and Remus, Mowgli, and Tarzan in paragraph (2)?

- A) They are all authors of stories about feral children.
- B) They are all popular Disney characters.
- C) They are all scientists who study feral children.
- D) They are all fictional examples of feral children.

問 3. In paragraph (4), which of the following could replace the phrase ② turned out to be?

- A) ceased being
- B) eventually became
- C) tended to be
- D) wanted to be

- 問 4. Based on the context in paragraph (4), what does ③ questions were raised mean?
- A) People asked Wild Peter about how to escape society.
 - B) People were unsure if the story of Wild Peter was true.
 - C) Wild Peter asked questions about how to live in German society.
 - D) Wild Peter was asked about how to survive in the woods.
- 問 5. According to paragraph (4), what was the significance of Wild Peter's pale skin?
- A) It showed that he had always been unhealthy.
 - B) It showed that he had recently been sick.
 - C) It showed that he used to wear clothes.
 - D) It showed that he was from a different country.
- 問 6. According to paragraph (5), which of the following was NOT an action done by the girls Amala and Kamala?
- A) They ate raw meat.
 - B) They made animal sounds.
 - C) They spoke well.
 - D) They walked on their hands and feet.
- 問 7. According to paragraph (6), which of the following was true about the girls Amala and Kamala?
- A) They had mental and health problems.
 - B) They liked wolves more than people.
 - C) They were Dr. Singh's daughters.
 - D) They had been lying about their lives.
- 問 8. According to paragraph (7), why did Ray pretend to be a feral teenager?
- A) He thought his life was boring and wanted to do something different.
 - B) He thought that living in the forest was better than living in the city.
 - C) He wanted to learn how to live in the natural world more easily.
 - D) He wanted to move to Germany but didn't have a passport.
- 問 9. Based on the stories in paragraphs (3) ~ (7), what is the best meaning of the word ④ hoax in paragraph (6)?
- A) sharing interesting facts with people
 - B) taking care of children who need help
 - C) teaching children to live in society
 - D) telling a lie in order to trick people

問 10. According to paragraph (8), why is it unlikely that feral children exist, even in huge jungles or forests?

- A) Children need love and family support in order to grow up and be healthy.
- B) Unlike animals, only human parents really love their children.
- C) With no parents, babies would probably be eaten by animals or starve.
- D) Without wolves to take care of them, children could not survive in a forest.

第2問

以下の **Reading B** を読み、問 1 から問 10 までの質問で最も適当な答えをそれぞれ下の A)～D) の中から 1 つ選びなさい。文章の前の番号は段落を示しています。また、*を付した語には注を付してあります。(配点 50)

Reading B

- (1) Crickets are scurrying* over the surface of paper egg cartons* in plastic containers set on the shelves of a temperature-controlled greenhouse in Nihonmatsu, Fukushima Prefecture.
- (2) For many people, these critters* will soon be tasty snacks.
- (3) Raising crickets is a relatively new venture for Taiyo Green Energy Company, which generates* electricity from solar power and grows vegetables indoors.
- (4) Even though insect cultivation fell outside the scope of its normal expertise*, the Saitama Prefecture-based company began raising the crickets in 2017 and started shipping them in 2018.
- (5) “We are looking to produce a sustainable* source of food in Japan,” said Fumihiko Kojin, president of Taiyo Green Energy.
- (6) It is one of an increasing number of Japanese businesses getting into edible* insect farming, as bugs draw more and more attention as a sustainable food source.
- (7) The trend, originally aimed at bringing an “unusual delicacy*” to dinner tables, is being buoyed* by the lower environmental costs of bug culturing* compared to animal husbandry*.
- (8) According to Ryota Mitsunashi, a product development official at the Tokyo-based edible bug retailer* Takeo, many Japanese companies have recently entered the insect farming business.
- (9) “As far as I know, at least 26 corporations, including those scheduled to start culturing from now, are working in the cricket market,” said Mitsunashi. “In addition, several other firms are engaging in the farming of housefly larvae* and silkworms*.”
- (10) Takeo began selling domestically raised insects in 2019 and bug products from nine farmers are now available at the store. It also started farming migratory locusts* on its own in 2019 and started a joint research program with Hirosaki University in 2020.
- (11) Larvae of crickets [and] silkworms [...] are becoming high-profile* food these days. The insects can replace beef, pork and other kinds of meats, which are expected to fall into short supply in the future due to the world’s growing population.
- (12) The main advantage of bugs is their smaller impact on the environment. Insects can be cultured efficiently while using much smaller amounts of feed, water and energy than

raising animals such as cattle and pigs. On top of that, their protein* levels are comparable to animal meat.

- (13) Crickets are a major bug species cultivated in Japan. Farmers deliver their products frozen so retailers can boil and dry them to sell them as snacks. Insect producers at times do all the processing on their own, from drying to crushing, so they can use them as raw materials for snacks of their brands.
- (14) Takahito Watanabe, an assistant professor of developmental biology at Tokushima University who studies crickets, established his own company called Gryllus in Tokushima Prefecture in 2019.
- (15) Gryllus raises crickets at its production base in plastic clothing containers. The process takes about a month.
- (16) The company has an integrated production system* so it can dry and powder them on its own.
- (17) In late 2020, Gryllus developed an automated cultivation method that provides food and water, making cultivation less labor intensive*. In the summer of 2021, it replaced all its feed with wheat bran* and other food waste generated within the country.
- (18) “Insects are not things to be consumed by only a certain group of people but a new protein source friendlier to the environment,” said Watanabe. “Using domestically produced food that would otherwise be discarded* for feed is significant because it will create a new cycle (of reuse).”
- (19) But while farming insects is becoming increasingly common, safety and hygiene restrictions* have yet to be introduced for the industry.
- (20) Currently, it is difficult for officials and experts to get an overall grasp* of the emerging* businesses, such as under what conditions farmers feed their insects and what kind of food they are given.
- (21) A working group from the Council for Public-Private Partnership in Food Technology, created by the farm ministry in 2020, plans to start hashing out* regulations for the fledgling* industry.
- (22) The rules would serve as the guidelines for both the public and private sectors. While the restrictions would not be legally binding*, they aim to offer consumers a sense of safety by installing quality-control measures. [...]

*scurry: 素早く動く

*carton: カートン

*critter: 小さな生き物

*generate: 生成する

*expertise: 専門知識

*sustainable: 持続可能な

*edible: 食用

*delicacy: 珍味

*buoy: 支える

*culturing: 飼育する

*animal husbandry: 畜産

*retailer: 小売業者

*housefly larvae: イエバエの幼虫

*silkworm: カイコ

*migratory locust: ワタリバッタ

*high-profile: 注目を集める

*protein: タンパク質

*integrated production system: 一貫生産システム

*labor-intensive: 労働力を要する

*wheat bran: 小麦ぬか

*discard: 捨てる

*hygiene restrictions: 衛生規制

*grasp: 把握

*emerging: 新興の

*hashing out: 徹底的に話し合う

*fledgling: 新興の

*legally binding: 法的拘束力のある

(出典: Kanda, A. (2022, Jan. 21). Insect farming is booming amid demand for more sustainable food. *The Asahi Shimbun*. <https://www.asahi.com/ajw/articles/photo/41704902>. 出題のため一部改編)

Reading Comprehension Questions

問 1. According to paragraphs (4) ~ (5), what is the main reason Taiyo Green Energy started raising crickets, even though it's not their usual business?

- A) to conduct research on how controlled temperature conditions affect the growth of insects
- B) to develop a sustainable and long-term food supply for Japan's population
- C) to expand the company's size by managing several different kinds of businesses
- D) to shift its main operations away from solar energy and replace them with vegetable farming

問 2. According to paragraph (7), how has the trend of eating insects changed over time?

- A) from being an unusual treat to a way to lower environmental harm
- B) from eating at the dinner table to eating with farm animals
- C) from eating housefly larvae to eating silkworms
- D) from smaller farming businesses to only larger corporations

問 3. According to paragraph (9), what does Ryota Mitsuhashi say about the growth of insect farming in Japan?

- A) Corporations are now raising housefly larvae and silkworms instead of crickets.
- B) Domestically raised housefly larvae and silkworms are available in stores.
- C) More companies are participating, including those planning to start soon.
- D) The trend of eating insects is becoming more popular in Tokyo.

- 問 4. According to paragraph (11), why are larvae of certain insects becoming more popular?
- A) They can be raised in more locations than farm animals.
 - B) They can be substituted for meats that might become scarce.
 - C) They have more protein than other kinds of meats.
 - D) They will be easier to transport to the world's growing population.
- 問 5. According to paragraph (12), what key benefit do bugs offer compared to cattle or pigs?
- A) They can be cooked like beef, pork and other kinds of meats.
 - B) They can be grown in smaller spaces compared to cattle or pigs.
 - C) They can be grown with fewer resources while maintaining protein quality.
 - D) They can be more easily shipped fresh without any freezing.
- 問 6. According to paragraph (13), how do farmers ship the crickets to retailers?
- A) They crush the crickets before shipping.
 - B) They make the crickets into snacks first.
 - C) They receive the crickets boiled and dried.
 - D) They send the crickets frozen.
- 問 7. According to paragraph (17), what did Gryllus start using in late 2020 to make raising crickets easier?
- A) A machine that gives food and water automatically.
 - B) A production base that used plastic clothing containers.
 - C) A replacement of feed with wheat bran and other food waste.
 - D) A system to dry and powder the crickets on its own.
- 問 8. According to paragraph (18), why does Takahito Watanabe believe that feeding crickets with local waste is important?
- A) It decreases the amount of domestically produced food.
 - B) It helps build a system for using food waste in a productive way.
 - C) It makes cultivation less labor intensive for insect farmers.
 - D) It uses a new protein source that is only consumed by a certain group of people.
- 問 9. According to paragraph (19), what is a challenge for the expanding insect farming business?
- A) Farmers do not know what kinds of food to feed their insects.
 - B) Only a small number of experts can understand the business fully.
 - C) There are no official rules yet for keeping things safe and clean.
 - D) Too many laws can slow down the creation of new companies.

問 10. According to paragraphs (21) ~ (22), what is the role of the Council for Public-Private Partnership in Food Technology?

- A) It will create new laws based on scientific evidence.
- B) It will help the farm ministry with confirming the proposed rules.
- C) It will provide counter measures against infectious disease.
- D) It will set up a group to discuss new guidelines for insect farming.

第3問

以下の **Reading C** の文章を読んで問 1 から問 3 の質問に答えなさい。また、*を付した語には注を付してあります。(配点 50 点)

Reading C

- (1) [...] Scientists define habits as behaviors that are performed regularly and cued* subconsciously* in response to certain environments, whether it be a location, time of day, or even an emotional state. They can include simple actions like picking your hair* when stressed, but also more complex practices ingrained* in daily routines, like staying up late or brewing* your coffee in the morning. If you do something frequently, without much deliberation*, then it's likely a habit. [...]
- (2) Habits are stored memories of what has worked in the past, which allow you to take swift* action in the present. ① One study estimated that on average, people spend more than 40% of their days performing regularly repeated behaviors while their minds are occupied with other thoughts. A seemingly* automated* morning routine, for example, saves you both time and precious mental energy.
- (3) Still, many people have [bad] habits that no longer serve them. Yet research shows that intentions alone often fail to lead to long-term behavior change. This isn't to say you can't break a habit. Rather, by understanding the basis of habits, you can create better plans for changing them.
- (4) For example, we know habits are often cued by environments and routines. Lying in bed may cause you to endlessly scroll* through your phone, or watching TV on the couch* may lead you to grab a sugary snack. One of the most effective ways to manage behavior is to identify these locations or times of day. Then try to modify them by changing your routine or creating obstacles that make it more difficult to perform the habit in that space.
- (5) ② Moving to a different house, switching jobs, or even starting a new schedule is a particularly great time to break a habit or build a new one. One 2005 study tracked university students' exercising, reading, and TV watching habits before and after they transferred schools. When students were no longer around old environments and routines, their habits, even the strong ones, significantly changed.
- (6) For behaviors like nail-biting or hair-pulling, a practice called ③ habit reversal training can be helpful. Developed by psychologists in the 1970s, the aim is to change a habit by replacing it with another one that's less detrimental*. The training requires you to analyze and understand your habit cues*, so you can effectively intervene* at the right times. For example, if you tend to bite your nails at work, preemptively* keep a fidget toy*

at your desk. Then, if a stressful email comes in, use the toy when you feel the urge to bite your nails.

*cue: 合図を与える

*subconsciously: 無意識に

*pick your hair: (自分の)髪を抜く

*ingrained: 深くしみこんでいる

*brew: (熱い飲み物を)いれる

*deliberation: 深く考える事

*swift: 素早い

*seemingly: 見た目

*automated: 自動化された

*scroll: 画面を上下左右に動かす

*couch: ソファ

*detrimental: 有害な

*cue: 合図

*intervene: 妨害する

*preemptively: 先に

*fidget toy: 手持ち無沙汰に触る玩具

(出典: Why is it so hard to break a bad habit? [Video transcript]. (2023, Aug.) *TED*. https://www.ted.com/talks/ted_ed_why_is_it_so_hard_to_break_a_bad_habit. 出題のため一部改編)

問1 下線部①を和訳しなさい。(15点)

問2 下線部②を和訳しなさい。(15点)

問3 下線部③ (habit reversal training) を 50 字程度で、何を示すか日本語で説明しなさい。
(20点)

第4問

次の英文を読んで、自分の考えやその理由を下記の指示 [Essay Instructions] に従って 150 語程度の英語で書きなさい。(配点 50)

You may have heard the old Japanese proverb, “The nail which sticks up is hammered down.”* Guides for people doing business in Japan often explain this proverb by discussing rules for dressing appropriately, such as not wearing flashy* or colorful clothes to a meeting. However, its meaning is much deeper.

On his website, Masafumi Otsuka told a story about a large conference in Tokyo that was supposed to help young people get more interested in politics. Many different speakers, such as leaders of companies, famous TV anchors, and college professors, came to the event. Young businesspeople also shared their opinions, and many college students watched the presentations.

During the conference, a famous professor gave his own opinion. Then, a young businessman did something surprising: he asked a question that challenged* the professor and suggested that he did not agree with the professor. The professor became very angry, and the audience supported the professor, not the young businessman.

While it is common for younger people around the world to challenge the perspectives of older people, this situation is pretty uncommon in Japan.

*“The nail which sticks up is hammered down.”: 「出る杭は打たれる」

*flashy: 派手な

*challenge: 挑戦する

参考資料:

Otsuka, M. (2015, Jan. 21). How the Nail that Sticks Up Gets Hammered Down. *Manabi St.*

http://www.masafumiotsuka.com/english/sticking_nail/.

Essay Instructions:

What do you think about young people speaking against the opinions of older people, especially in public? Is it acceptable for young people in Japan to do this, or not? Please explain your ideas and give examples.

[END OF EXAM]

令和 8 年度

名桜大学 人間健康学部 看護学科

一般選抜(前期日程)

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。
4. 解答方法は次のとおりである。
 - 1) 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
 - 2) 解答用紙の他に下書き用紙を配布するので取り違えないように注意すること。
 - 3) 試験問題の裏や余白を下書きに使用してもよい。
5. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

次の文章を読んで設問に答えなさい。

一人の人格をケアするとは、最も深い意味で、その人が成長すること、自己実現することをたすけることである。たとえば、わが子をケアする父親を考えてみよう。彼はその子を、その子自身が本来持っている権利において存在するものと認め、成長しようと努力している存在として①そんちようする。彼はその子にとって自分が必要であると感じているし、その子の成長したいという要求に彼がこたえることによって、その子が成長するのをたすけるのである。ケアすることは、自分の種々の欲求を満たすために、他人を単に利用するとは正反対のことである。私が言おうとするケアの意味を、もう一人の人格について幸福を祈ったり、好意を持ったり、②なぐさめたり、支持したり、単に興味を持ったりすることと混同してはならない。さらに、ケアするとは、それだけで切り離された感情でもなく、つかの間の関係でもなく、単にある人をケアしたいという事実でもないのである。相手が成長し、自己実現することをたすけることとしてのケアは、ひとつの過程であり、展開を内にはらみつつ人に関与するあり方であり、それはちょうど、相互信頼と、深まり質的に変わっていく関係とをとおして、時とともに友情が③せいじゅくしていくのと同様に成長するものなのである。両親が子供を、教師が学生を、精神療法家がクライアントを、夫が妻をケアすること——これらの間にいかに大きな相違があるろうと、それらはすべて共通のパターンを示していることを私は明らかにしたい。しかし人々をケアすることのほかに、ある意味では、私たちは他のたくさんのものやことを同様にケアすることがある。私たちは、たとえば“新構想”（哲学的または芸術上の^{アイデア}概念）や、ある理想や、ある共同社会をケアすることがある。ここでも、一人の人格をケアすることと一つの④かんねんをケアすることとの間に、どのような重要な相違があるろうとも、その相手が成長するのを援助するという共通のパターンがあることを示したいと思う。これから私が記し探究していくのは、ケアすることの、この一般的なパターンなのである。

一人の人間の⑤しょうがいの中で考えた場合、ケアすることは、ケアすることを中心として彼の他の諸価値と諸活動を位置づける働きをしている。彼のケアがあらゆるものと関連するがゆえに、その位置づけが総合的な意味を持つとき、彼の⑤しょうがいには基本的な安定性が生まれる。すなわち、彼は場所を得ないでいたり、自分の場所を絶え間なく求めてたださすらっているのではなく、世界の中であって“自分の落ち着き場所にいる”のである。他の人々をケアすることをとおして、他の人々に役立つことによって、その人は自身の生の真の意味を生きているのである。この世界の中で私たちが心を安んじていられるという意味において、この人は心を安んじて生きているのである。それは支配したり、説明したり、評価したりしているからではなく、ケアし、かつケアされているからなのである。

出典：ミルトン・メイヤロフ／田村真・向野宣之訳「ケアの本質」生きることの意味 ゆるみ出版（1987）より抜粋し、
出題のために一部を改変。

設問 1. 文中下線のひらがなを送り仮名も含めて漢字で書きなさい。（10 点）

設問 2. 著者が伝えたい考えを 250 字～300 字以内でまとめなさい。（40 点）

設問 3. ケアについて、「ケアすること」および「ケアされること」の用語を用いて、あなたの考えを 450～500 字以内で述べなさい。（50 点）

令和 8 年度
名桜大学 人間健康学部 健康情報学科

一般選抜(前期日程)

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙に受験番号、氏名を必ず記入すること。
4. 解答方法は次のとおりである。
 - 1) 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
 - 2) 解答用紙の他に下書き用紙を配付するので取り違えないように注意すること。
 - 3) 試験問題の裏及び余白を下書きに使用してよい。
5. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

以下の文章を読んで、続く問題に答えなさい。

いまなぜ AI 倫理なのか？

演繹^{*1}推論の自動化

2010 年代半ばから AI（人工知能）の評判はとてつもなく上がってきており、このブームは当分続きそうである。

この国だけではない。欧米をはじめどの先進国でも、経済成長の切り札だと見なされている。というのは、インターネットのおかげで世界中の膨大なデータが利用可能になったからだ。AI とは、一言でいえば、このビッグデータを上手に活用するための技術なのである。

だからこそ、今どうしても、AI の倫理的な側面をクローズアップしなくてはならない。AI が人間にかかわってクルマの運転をしたり、新卒社員の採用を決定したりするなら、倫理や道徳、責任などについてたくさんの現実的な問題が出てくるのは当たり前だろう。すでに内閣府や総務省など政府機関は AI のあり方について取り組んでいるし、海外では FLI（Future of Life Institute）はじめ幾つもの NPO 法人の活動が注目を集めている。国内外の工学系諸学会（ACM、IEEE、情報処理学会、人工知能学会など）も AI 倫理への関心は高いようだ。しかしそれらの報告書の多くは、有益ではあるものの、検討すべき諸項目を列挙している段階だという印象をあたえる。

率直に言って、まだ問題は十分に整理されてはいない。それどころか、根本的な議論はほとんどなされていないのが実状なのだ。

（A）AI 倫理を真剣に問いかけるためにはまず、いわゆる AI ブームの歴史について振り返ってみなくてはならない。なぜなら、現在ブームとなっている AI には、これまでの AI とは明らかに異なる特徴があるからだ。逆にいえば、これまでの AI ブームでは倫理を問う必要性は低かったのだが、今回のブームは事情が大きく異なるのである。

現在は AI の第三次ブームである。第一次は 1950～60 年代、第二次は 1980 年代に起こった。コンピュータが発明された直後に第一次ブームが起きたのだが、これは、コンピュータが高速論理操作をおこなう機械である点を考えると、当然の成り行きだったと言っている。「AI（Artificial Intelligence）」という言葉は 1956 年に米国で開かれたダートマス会議ではじめて用いられたのだが、そのイメージはいわば、人間の思考を自動的に実行する機械といったものである。

ただしここでいう「思考」とは、論理的な演繹推論のことだ。つまり、記号（0 と 1 のデジタル二値符号）で表される論理的な命題を、推論プログラムにしたがって操作し、結論命題を導くことが「思考」と見なされたのである。

演繹推論の例として誰しも思いつくのは、大前提「人間は死ぬ」と小前提「ソクラテスは人間だ」から結論「ソクラテスは死ぬ」を導くといった論理操作だ。前提の内容が正しく設

定されていれば、そこには誤りが紛れこむ恐れはまったくない。得られた結果は絶対に正しいのである。

ブール代数というものがあって、論理的な推論は、0 と 1 の二値符号を使った「計算」で実行できることが知られている。ブール代数にもとづき、人間の正確な論理的思考を「AND（かつ）と OR（または）と NOT（でない）を組み合わせた一種の計算」と見なして高速実行するのがデジタル・コンピュータという機械なのだ。人間の思考がすべて演繹推論だと仮定すると、それはコンピュータにも実行可能であり、したがって AI が出現するという理屈になる。第一次ブームはこうして起きたのである。

当初、思考の例題として選ばれたのは、簡単なパズルやゲームだった。それらは人間のおこなう論理的思考の典型例に他ならない。これらの多くは有限の状態のあいだを次々に遷移していくものだが、AI のプログラムが現在の状態から最終状態（正解をえた状態／勝利がきまった状態）へたどりつく経路をしらみつぶしに調べていき、最短経路を発見できれば、それで AI が問題を解決し勝ったことになる。囲碁や将棋ではこの経路がとてつもなく多いので面倒な工夫が必要となるが、簡単なパズルやゲームなら、AI は確かに「思考」したと見なされた。

とはいえ、現実社会の問題解決にこの AI を適用しようとすれば、たちまち壁に突き当たってしまう。現実の大半の問題ははるかに複雑で、機械的な論理操作だけでは片づかないからである。

たとえばフランス語の文章を英語に自動的に翻訳する機械翻訳を考えよう。少し踏み込んでみると、文法規則には例外も多いし、一つの単語が複数の意味をもつ多義語が頻出する。正確な翻訳など簡単にはできそうにない。

こうして AI は、玩具問題（toy problem）、つまり簡単なルールにもとづく小さな限られた世界の問題の解決にしか役立たないということになり、第一次ブームはあっけなく挫折してしまった。ただし、この失敗の影響は日本には及ばなかった。当時の日本にはコンピュータそのものがほとんど無かったからである。

知識を活用する

応用範囲を広げて、玩具問題だけでなく実用的な問題に AI 技術を活用しようとしたのが 1980 年代の第二次ブームである。その代表はスタンフォード大学のエドワード・ファイゲンバウムが提唱したエキスパート・システムだった。これは、AI に法律家や医者など専門知識をもつエキスパートの代わりをさせようというもので、一時はエキスパートが早晚失業するだろうという予測さえ巷^{※2}に流れ、大いに人々の期待を集めた。

確かに、知識（knowledge）は人間の社会的活動の鍵をにぎっている。知識をあらわす命題を組み合わせ、推論して結論を導いているのがエキスパートだと考えることもできる。とすれば、関連のある命題を AI に高速で探索させ、自動的に演繹推論をさせようという発想が出てくるのも不思議ではない。たとえば、患者の発熱や発疹といった症状を入力し、可能

性のある病気を診断する、といったことだ。

しかし、知識に注目した第二次ブームの AI は致命的な欠陥をかかえていた。なぜなら、人間の大半の知識は厳密な形式をそなえた論理命題というより、多分に曖昧さをふくんでいるからである。これはいわゆる社会常識にかぎらず、エキスパートの専門知識でも例外ではない。

たとえば、患者がいくつかの症状を示したとあって、医者が病名を 100 パーセント論理的に確定できることなどほとんどない。経験データにもとづき、総合的に推測を重ねていくのが普通であり、だから誤診も生まれるのだ。法的推論にしてもまったく同じである。対象となる事件をいかに解釈するかという自由度つまり曖昧さがあるからこそ、長期にわたる裁判がおこなわれているのである。

知識をあらわす命題群に曖昧さが含まれていれば、これらを自動的に組み合わせて高速で結論を出したところで、結論が正確だという保証はまったくないのだ。

ある命題が成立する確率を統計的にもとめ、「信頼度 (confidence)」といった指標を張り付けて結論の信頼性を保証しようという試みもあった。だがこのとき、正確な演繹推論という前提が崩れるので、実用上の難点はほとんど解決されない。血液性感染症診断用のエキスパート・システム「MYCIN」はかなり精度のよい診断をしたのだが、実用には供されなかった。誤診したときの責任問題に突き当たったからである。

医療診断や法的推論についての責任問題は誰でも思い当たるが、機械翻訳についても高い実用性は得られなかった。人間とちがって文脈にもとづく意味を理解できないため、AI には的確な翻訳文を出力することが非常に難しかったのである。こうして、90 年代になると AI への期待は急速に衰えていった。

医者や法律家など人間のエキスパートが失業するという予測ははずれた。現在も稼働しているエキスパート・システムもあるが、それは、ある程度の誤りが許容されるような応用に限られている。

(中略)

統計データから推測する

こうして第二次ブームは終了し、1990 年代から AI 研究は冬の時代を迎えた。そして 2010 年代にはいって第三次ブームが訪れたのだが、ここで AI という概念自体に根本的な変化が生じた。このことを忘れてはならない。それは、「論理的厳密性 (正確性) の放棄」である。

すでに述べたように「思考」とは、論理的な演繹推論であり、それを自動的に実行するのが第一次ブームにおける AI だった。だからこそ期待を集めたのである。だが現実には、論理的厳密性をもつ応用分野はパズルやゲームくらいしかない。そこで応用分野を広げて、専門知識に着目したのが第二次ブームの AI だったが、いかに体系的な専門知識でも曖昧さが含まれることから再び挫折してしまった。

しかし考えてみれば、われわれ人間は実社会で必ずしも論理的厳密性にこだわって活動しているわけではない。法律家も医者も、過去のデータから推測して判断するのが普通である。とすれば、AI の出力する結論が「間違いはあってもだいたい合っている」なら、十分に人間のかわりをするではないか、という発想が出てくるだろう。つまり、インターネットなどに蓄積された多くのデータを高速処理し、コンピュータに統計的推測をさせれば、それも「思考機械」ではないか、というわけだ。楽観的なマスコミの報道からは読み取りにくいですが、(B) 実はこういう発想転換が第三次ブームを引き起こしたのである。

第三次ブームをおこした技術の中核は、「深層学習 (Deep Learning)」とよばれるパターン認識システムである。以前から画像や音声といったパターンの認識はコンピュータにとって不得手な分野だった。厳密な論理処理とは相性が悪い応用分野の典型といえる。成功した数少ない例として手書き数字を認識する郵便番号読み取りシステムが有名だが、これは少数の認識誤りが発生しても致命傷ではなく、全体として効率があがるからである。パターン認識の分野では、コンピュータが学習しながら認識能力を向上させていく場合が多く、この技術は機械学習 (Machine Learning) とよばれている。

ところで、2010 年代にはいって急速に注目をあびた深層学習は、機械学習によるパターン認識のコンペ^{※3}において圧倒的な好成績をおさめた。その技術的理由とくに細部の工夫は専門的になるので省略するが、最大のポイントは、近年のコンピュータ処理能力の向上だったといっても過言ではない。

実は深層学習に類する技術は「ニューラルネット・モデル (コネクショニズム・モデル)」と呼ばれ、第二次ブームのときから実験的に研究されていたし、さらにその技術的祖型は第一次ブームのとき既に提案されていたのである。これは、人間の脳の構造をコンピュータで模擬した人工細胞の層からなるモデルであり、それゆえ思考機械のモデルとして興味を集めていたが、効率が悪すぎて実用に適さなかったのだ。

現在の深層学習は、ハード／ソフト両面の技術改善により、画像や音声などのパターン認識において実用のレベルに達したといっていよい。ただし、研究者の中には、これによって AI が人間のような認識能力をもったと主張する者もいるが、それは誇大宣伝である。理論的にいうと深層学習は単なる統計計算をおこなっているだけだ。人間の脳神経系の動作は、なお未知の部分が大きい。むしろここで強調すべきは、第三次ブームの AI の出力が論理的な厳密さをもっておらず誤りから逃れられない、という点である。つまり、必ずしも正確無比で 100 パーセント信頼できるとは言えないのだ。これは、当初の AI の目的からの大きな逸脱といえるだろう。

AI は演繹推論を高速でおこない、無謬^{※4}の正解をあたえる機能をもつもののはずだった。だが今や、応用面は拡大したものの、誤りを許容することになってしまったのである。

たとえば、第一次や第二次ブームのとき実用化の難しかった機械翻訳は現在、かなり広く使用されている。インターネット上で英語テキストの日本語訳を目にすることも少なくない。だが多くの訳文はどこか不自然で、明らかな誤訳も散見される。これは当然のことだろ

う。なぜなら、AI が英文テキストの「意味」を正確に理解しているわけではなく、基本的には、膨大な用例（コーパス）から原文と訳文のペアを検索し、最大頻度の訳文を出力しているに過ぎないからだ。つまり統計処理をおこなって確率の高い訳文を出力しているのである。

さて、論理的無謬性を放棄したからといって、ビッグデータにもとづいて統計的推測をおこなう現在の AI を頭から非難してはならない。人間も過去の経験やデータにもとづいて同じような推測をおこなっているのではないか。むしろ大量データの高速統計処理は望ましいとも考えられる。

とはいえ、AI が間違えること、さらにその能力の限界について、われわれはよく理解する必要がある。たとえば機械翻訳が有効なのは、日常的に使用される比較的簡単な文章にかぎられ、複雑で重層的な意味をもつ込み入った文脈の長文には、ほとんど効果が期待できない。これは統計的に明らかなことである。難解な外交文書の扱いを機械翻訳だけに委ねれば、深刻な国際問題が生じるだろう。

このように、AI が多くの誤りをもたらしうることが、AI の倫理的側面がクローズアップされてくる最大の原因である。誤りの責任を誰が負うかが問われてくるからだ。もし、過去の無謬神話にもとづいて AI をむやみに乱用すれば、途方もない社会的混乱が起きる。言い換えれば、「間違える AI」という前提にもとづき、誤りが生じたときの責任などの倫理的問題を解決しないかぎり、現在の AI は實際上、使い物にはならないのである。

(C) AI 倫理を問いかける理由は以上のようなものだ。

(後略)

※1 ^{えんえき} 演繹：一定の前提から論理規則に基づいて必然的に結論を導き出すこと。

※2 ^{ちまた} 巷：世間。

※3 コンペ：（コンペティションの略）競い合うこと。

※4 ^{むびょう} 無謬：理論・判断などに、誤りがなくこと。

出典：西垣通・河島茂生著『AI 倫理 人工知能は「責任」をとれるのか』中央公論新社（2019 年）より抜粋し、出題のために一部を改変。

注釈：新村出編『広辞苑第七版』岩波書店（2019 年）より抜粋。

問1 下線部（A）について、以下の問いに答えなさい。

AI の第一次ブームおよび第二次ブームにおいて、社会は AI に何を期待し、なぜ失敗したのか、筆者の主張をそれぞれ 50 字以上 80 字以内で説明しなさい。

問2 下線部（B）について、以下の問いに答えなさい。

AI の第三次ブームにおいて、本文で挙げられている AI の特徴を 3 つ、それぞれ 15 字以内で説明しなさい。

問3 下線部（C）について、以下の問いに答えなさい。

本文では、現在普及している AI が出現するまでの歴史的な経緯を踏まえた上で、AI 倫理、つまり AI 利用によって問題が生じた際の責任の所在について問題提起している。

AI 倫理における責任の所在について、自分の考えを 200 字以内で述べなさい。ただし、①AI をどのような場面で利用するのか、②想定外の結果が生じた場合に誰が責任を負うべきか、③そのような失敗を防ぐためにはどうすればよいか、について含めること。

令和 8 年度

名桜大学 国際学部
国際文化学科・国際観光産業学科

一般選抜(後期日程)

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答時間は 90 分である。
3. 解答用紙の所定の欄に受験番号と氏名を記入すること。
4. 解答は、解答用紙の所定の欄に横書きで記入すること。
5. 解答欄は、解答用紙の表と裏にあるので注意すること。
6. 解答用紙の他に下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
7. 試験終了後、解答用紙のみ回収する。問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

【設問】 次の文章を読み、デジタル教科書の活用拡大に関するメリットとデメリットについて、あなたの考えを論じなさい。

答案を作成する際には次の指示に従うこと。

- 複数の段落で文章を構成すること。
- 題目、見出しは書かないこと。
- 700 字以上 800 字以内で書くこと。
- 一般的な原稿用紙の使い方に則って、横書きで書くこと。

デジタル教科書は学習効果がいまだ明確ではない。通信環境の整備も遅れている。この状況で一気に利用を拡大する必要があるとは思えない。

文部科学省が、デジタル教科書の利用を推進する中央教育審議会のワーキンググループ（WG）の初会合を開いた。

今後、学習指導要領の改定に伴う教科書の刷新や政府が全国の児童生徒に配布した学習用端末の更新が本格化するためだという。

文科省は初会合で、「紙を全てデジタルに置き換える」など五つの案を示した。デジタル教科書の活用を大幅に拡大させたい意向があるのは明らかだ。

デジタル教科書は2022年に紙の教科書との「併用」が決まり、今年度から小5～中3の英語と一部の算数・数学で導入された。

デジタルには、音声や映像で子供の理解を助ける役割が期待される一方、深い思考や記憶の定着には不向きだとされる。結局、「紙も大事だ」との結論に至り、限定的使用にとどめた経緯がある。

それからわずか2年、しかも今年度から本格的な利用を開始したばかりという段階で、状況がどう変わったというのか。

文科省は22年、デジタルは「紙と同等以上の効果がある」とする「検証」結果を公表したが、この時も明確な根拠に乏しかった。

通信環境の整備も進んでいない。教員が不便に感じているのは、デジタル教科書にエラー表示が出た際の対処だ。子供が授業と無関係な操作に集中したり、視力が悪化したりという弊害もある。

使用拡大でアクセスが集中した場合、通信はダウンしないのか。災害やシステム障害の際はどのようにするのか。不安は尽きない。

教育は、人を育てる、極めて人間的な営みだ。その基本となる教科書を十分な検証もせず、デジタル主体に切り替えては、将来に禍根を残す。デジタルはあくまで紙の教科書を補助する役割として、相乗効果を図るのが望ましい。

WGに、教科書のデジタル化に慎重な学者らは入っていない。これでは結論ありきではないか。

学習指導要領の改定や端末の更新、そのための予算獲得といった役所の論理ではなく、子

供の学びに何が必要かという、教育の基本に立ち返った議論が不可欠だ。

人間は紙の本を読む時、ページをめくりながら、その感触や紙質などの情報と共に内容を記憶するとされる。紙の文化を捨て、子供の思考力に悪影響が出ることがあったら取り返しがつかない。

出典 社説「デジタル教科書 なぜ利用の拡大を急ぐのか」、『読売新聞』、2024 年 9 月 11 日、東京朝刊、3 頁

小論文「出題の意図」、総合問題「模範解答」、英語「模範解答」

小論文、総合問題および英語における論述問題の解答については、一義的なものではないため、出題の意図や採点方針を公表します（学科によっては論述問題においても模範解答としています）。

1. 総合型選抜

◇国際学部 国際文化学科・国際観光産業学科 小論文「出題の意図」

現代の大学生を含む若者の間で、紙の書籍や電子書籍をまったく読まない層が増加している。この背景には、ネットの普及や書店の減少、就職活動に追われる生活などが挙げられる。しかし、情報の受け取り方は時代とともに多様化しており、SNS やまとめサイトなどでも文章に触れる機会は増えている。本課題では、志願者に対し、単に読書量の増減を論じるのではなく、「本ならではの魅力」「深い学びや多様な世界観に触れる意義」を踏まえ、現代社会で主体的に学ぶ姿勢や知的好奇心をどのように育むかを論理的に表現できるかを問いたい。

◇人間健康学部 スポーツ健康学科 小論文「出題の意図」

小論文における知識・技能、スポーツに関する知識・思考力が評価の対象になる。

◇人間健康学部 健康情報学科 小論文「出題の意図」

セルフトラッキングに関する 5,000 字程度の課題文を読み、課題の理解力・分析力を問う。健康情報学科入学後の学習に必要な興味を前提に、思考力・論理的な表現力を問う。

2. 学校推薦型選抜

◇国際学部 国際文化学科・国際観光産業学科 小論文「出題の意図」

記事の趣旨である専門機関の役割を踏まえ、情報の受け手である個人の責任にも焦点を当てることで、多角的な視点から論じる。

◇人間健康学部 スポーツ健康学科 小論文「出題の意図」

小論文における知識・技能、スポーツ及び健康等に関する知識・思考力が評価の対象になる。

◇人間健康学部 看護学科 総合問題「模範解答」

I 【解答】

(a)	(d)	(b)	(c)		
しっぺい	ふうちょう	連鎖	抑制	(3)	(1)
5 点	5 点	5 点	5 点	5 点	5 点
設問 5					
健康格差は、雇用格差による所得格差によって連鎖しており、現役世代では非正規雇用者の糖尿病、貧困家庭の子どもでは肥満、低所得の高齢者では医療機関の未受診など、すべての世代で深刻な問題になっている。(97 字)					

Ⅱ【解答】

設問 1	設問 2		設問 3	設問 4
	ア	イ		
(4)	(2)	一人で生きていくこと	(1)	57 (%)
5 点	5 点	5 点	5 点	10 点
設問 5				
図 3	ソーシャルキャピタルの高い国ほど平均寿命が長く、日本の平均寿命は他国よりも高い水準にある。しかし、日本と他国を比較した場合、他人を信頼している人の割合が、寿命から想定される割合よりも高いわけではない。(100 字)			
図 4	高齢者になっても、スポーツや趣味を通じて人と接する機会が多いほど、要介護になりにくい傾向にあることがわかるので、高齢者を社会的に孤立させない工夫が必要になってくる。(82 字)			
図 5	サロンへの参加が、要介護認定率や認知症発症率を減少させることに効果があることが明確にわかる。このような他者との関わり合いが、健康な老後を過ごすためには重要である。(81 字)			
まとめ	日本は、今後、類を見ないほどの超高齢社会へと向かっていく。したがって、高齢者の認知症やうつは大きな社会問題となっていくだろう。一人一人が孤立することなく健康に過ごすことは、医療費の抑制のみならず、労働人口が減少する日本においては、経済面でも重要となっていく。所得に関係なく高齢者が健康に長く生きていける社会を、民間、公的機関が力を合わせて対策をしていく必要があるだろう。(185 字)			

Ⅲ【解答】

設問 1	
私たちは、一方では世界の特定の地域で平均余命と健康状態が改善し続ける様子に感嘆し、他方では、別の地域でそうした改善が見られないことに懸念を抱く。	
20 点	
設問 2	
①	②
もし彼女が別の国に生まれれば	社会的不遇の程度
5 点	5 点
③	④
global organizations	achieving (to achieve)
5 点	5 点
設問 3	設問 4
(1)	(4)
10 点	10 点

Ⅳ【解答】

設問 1					設問 2
ア	イ	ウ	エ	オ	
アミラーゼ	ペプシン	肝臓	リパーゼ	アミノ酸	(3)
5 点	5 点	5 点	5 点	5 点	5 点

設問 3	
食物中に含まれる病気の原因となる微生物を殺し、病気にならないようにする。	
5 点	
設問 4	〈採点基準〉 設問 3 「食べ物が腐敗するのを防ぐ」などの表現でも可とする。
(4)	
5 点	

◇人間健康学部 健康情報学科 小論文「出題の意図」

2,500 字程度の課題文を読み、課題の理解力・分析力を問う。健康情報学科入学後の学習に必要な興味を前提に、思考力・論理的な表現力を問う。

3. 編入学試験

◇国際学部 国際文化学科 事前提出型小論文「出題の意図」

西洋の自然観・価値観がもたらした功罪を踏まえ、日本の、あるいはアジア的自然観・価値観の特徴を具体的に述べた上で、今の我々が伝統芸能、伝統文化を受け継ぎ、未来へと残していく意義について論じてもらいたい。

◇国際学部 国際観光産業学科 事前提出型小論文「出題の意図」

観光は今や日本の主要産業のひとつになっている。そのなかで訪日外国人旅行者の増加は顕著であるが、一方で様々な課題もみられる。二重価格はその課題のひとつの方策になり得るのだろうか。二重価格のあり方を通して現代日本の課題を深く考えてほしい。

◇人間健康学部 スポーツ健康学科 小論文「出題の意図」

学校推薦型選抜 スポーツ健康学科「小論文」と同じ。

◇人間健康学部 看護学科 総合問題「模範解答」

学校推薦型選抜 看護学科「総合問題」と同じ。

◇人間健康学部 健康情報学科 小論文「出題の意図」

地方の公共交通に関する資料を読み、課題の理解力、思考力、論理的な表現力を問う。

3. 特別選抜

(1) 国際学部 国際文化学科/国際観光産業学科

◇外国人留学生特別選抜 事前提出型小論文「出題の意図」

科学技術の発達によって簡単に答えが得られるようになった現代における学びの意味を問うことで、「強い学習意欲」や「社会の課題」と取り組む姿勢を確認したい。

(2) 人間健康学部 スポーツ健康学科 帰国生徒特別選抜 外国人留学生特別選抜

小論文「模範解答」

学校推薦型選抜 スポーツ健康学科「小論文」と同じ。

(2) 人間健康学部 看護学科 社会人特別選抜 総合問題「模範解答」

学校推薦型選抜 看護学科「総合問題」と同じ。

(4) 人間健康学部 健康情報学科 外国人留学生特別選抜 小論文「模範解答」

学校推薦型選抜 健康情報学科「小論文」と同じ。

4. 一般選抜・前期日程

◇国際学部 国際文化学科/国際観光産業学科 小論文「出題の意図」

「障害の社会モデル」の考え方に拠れば、「障害」の問題は国内外を問わず、文化、経済、観光などさまざまな分野に関わる。「多様性」が謳われる一方で「分断」が進む現代社会において「障害」を可能な限り取り除いていくことが求められる。各自の関心のある分野と関わらせて「障害」の問題を考えてもらいたい。

◇国際学部 国際文化学科/国際観光産業学科 英語「模範解答」

第1問 (A) (配点 50)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10
A	D	B	B	C	C	A	A	D	C

第2問 (B) (配点 50)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10
B	A	C	B	C	D	A	B	C	D

第3問 (C) (配点 50)

問1 (15点)

ある研究によると、人は平均して規則的に繰り返す行動をする事で一日の40%以上を過ごす一方、頭は他の考えで一杯であると推測している。

問 2 (15 点)

別の家へ引っ越したり、仕事を変えたり、新しい予定を始める事でさえが習慣をやめたり、または新しい習慣を築く非常に良い時である。

問 3 (20 点)

悪い習慣のきっかけとなっている合図を分析、理解して別の行動を行う事でその習慣が起こることを防ぐ訓練である。

第 4 問 (配点 50)

エッセイ

[解答の例文]

In Japan, speaking against older people is traditionally discouraged to maintain harmony and show respect. However, letting young people share different ideas is necessary for the future of society. If young people are allowed to speak openly in public with older people, they can share their true thoughts and ideas. Also, since younger people use social media every day, they are aware of global trends and new ideas that older people might miss. If we ignore their voices, it will be difficult to solve long-term problems that will affect the future lives of young people much more than those of older people. Therefore, they must be allowed to speak. Disagreement does not mean being bad-mannered, because young people can express their thoughts politely. Although cultural respect is important, Japanese society should see the opinions of the younger generation not as a threat, but as a positive thing for a better future. Older people should be more open-minded and listen to these new ideas.

◇人間健康学部看護学科 小論文「模範解答」

【解答】

設問 1、文中下線のひらがなを漢字で書きなさい。送り仮名がある場合は書きなさい。

①尊重 ②慰め ③成熟 ④観念 ⑤生涯

設問 2. 解答例

著者は、ケアとは単なる好意や慰め、感情的な関心ではなく、相手を一人格として尊重し、その人が成長し自己実現していく過程に関与し続ける行為であると述べている。また、ケアは一時的な感情や関係ではなく、相互信頼を基盤として時間とともに深まり、友情が成熟していくと同様に質的に変化していく過程であると述べている。さらに、他者や理念、共同体をケアすることは、ケアする側自身の生の意味と安定をも支え、世界の中で自らの居場所を得ることにつながる。人は支配や評価によってではなく、ケアし、ケアされる関係の中で心安らかに生きるということを述べている。(266)

設問 3. 解答例

①私が考えるケアとは、病気や困っているときに助けることだけではなく、相手の成長を信じて関わり続け、支え続けることであり、それは人と人をつなぎ、ケアする側とケアされる側の双方の人生を豊かにすることだと考える。私は公立高校に通い、両親や兄弟、祖父母と暮らしている。大学受験に向けて成績が伸び悩み、落ち込んでいるとき、両親は試験結果を見ても結果だけを責めず、私の努力している姿を静かに見守ってくれた。また、

祖父母は落ち込んで進路に迷う私の話を最後まで聞き、私に答えを押し付けることはなかった。こうした両親や祖父母からケアされる経験を通して、自分は家族から大切にされており、また期待されていることを感じ、自分のことは自分で考え判断し、さらに努力し前に進もうと思えた。一方で、祖父母の体調を気づかい家の手伝いをする中で、両親や祖父母が安心して様子が見られ、相手の生活を支えることが相手の安心につながると知った。ケアすることとケアされることは一方通行ではなく、時間をかけながら信頼関係を深め、相手の成長を助ける中で成熟するものであり、互いの成長を支え合う関係なのだと考えた。（482）

◇人間健康学部 健康情報学科 小論文「出題の意図」

AI 倫理に関する 5,000 字程度の課題文を読み、課題の理解力・分析力を問う。健康情報学科入学後の学習に必要な興味を前提に、思考力・論理的な表現力を問う。

5. 一般選抜・後期日程

◇国際学部 国際文化学科・観光産業学科 小論文「出題の意図」

「現代社会の課題」をテーマとする出題方針に対し、現代において重視される「個を尊重する社会」を多様な視点から理解できているかを問う。

名桜大学 入学試験問題集

＜令和 8(2026)年度＞

令和 8 年 7 月 22 日 印刷発行

編集・発行：名桜大学 教務部 入試・広報課
〒905-8585 沖縄県名護市字為又 1220 番地の 1
TEL：0980-51-1056

※本冊子の無断複写・複製・転載を禁じます。

